

E/DEシリーズ

USER'S GUIDE

2

ユーザーズガイド

◀ 画面で読むマニュアル ▶

Contents

本書の読みかた	
ONKYO電子マニュアルについて	2



使用する

置き場所について	4
電源のON/OFF	6
ユーザーアカウントの切り替え	9
マウスの使用	10
タッチパッドの使用	12
キーボードの使用	13
CD-ROMやDVDなどの光ディスクの使用	18
音量の調整	20
表示画面の変更	21
ワイヤレスLANの使用	ワイヤレスLAN搭載モデルのみ 23
WEBカメラを使用する	WEBカメラ搭載モデルのみ 27



周辺機器を使用する

周辺機器の接続	29
周辺機器を使用するには	32
AV機器との接続	34
USB対応機器の使用	36
iPodを使う	37
FeliCaポートを使う	39
メモリーカードの使用	40



トラブルの対応






おかしいなと思ったら	43
パソコンで調べる	44
困ったときのチェックリスト	46
よくある質問集	47
リカバリーの準備	52
BIOSを設定する	69
索引	70

ご使用の前にユーザーズガイド1「安全上のご注意」(P.2ページ)を必ずお読みください。

本書の読みかた

本書で使用しているマークについて

本書では次のマークを使用しています。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害（※2）を負う可能性が想定される内容および、物的損害（※3）のみの発生が想定される内容を示しています。
	操作してはいけないこと、または操作するときに注意するポイントを説明しています。
	補足説明や、知っておくと便利なポイントを説明しています。
 参照ページ	機能の詳細を別のページで紹介、または説明していることを示します。必要に応じて参照してください。

※1：重傷とは、入院や長期の通院を要する恐れのある怪我などを指します。

※2：傷害とは、入院や長期の通院を要しない怪我などを指します。

※3：物的損害とは、本機の損害、および家屋・家財・ペットなどにかかわる二次的な損害を指します。

製品の表記について

■ イラストや画面表示に関して

本書中に出てくるホームページの内容およびURL、またはお問い合わせ番号は、本書制作時の情報であり、予告なしに変更される場合があります。

■ 機能の区別による表記

ワイヤレスLAN搭載モデル

ワイヤレスLAN（無線によるネットワークの接続が可能）の機能を搭載したモデル。

WEBカメラ搭載モデル

WEBカメラ機能を搭載したモデル。静止画や動画の撮影が可能。

地上デジタルテレビ搭載モデル

地上デジタルテレビの機能を搭載したモデル。地上デジタルテレビの閲覧が可能。

■ Windows® 7の表記について

本書では、Windows® 7 Home Premiumを、Windows 7またはWindowsと省略して表記しています。Windows 7には、背景を透かして表示させるWindows Aeroという機能がありますが、本書ではこの機能をOFFにした画面で説明しています。

操作の表記について

■ メニューを選択する操作

つぎつぎとメニューを選択していく操作を「→」を使って省略しています。

たとえば、スタートボタンから「ペイント」のプログラムまでを選択する動作を、

[スタート] ボタン→ [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [ペイント] を選択します。

と表記しています。



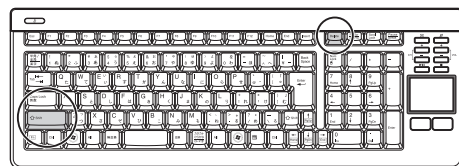
■ 複数のキーを同時に押す操作

何かのキーを押しながら、ほかのキーを押す動作を「+」を使って省略しています。

たとえば、Shiftキーを押しながら、Deleteキーを押す動作を、

Shift + **Delete**

と表記しています。



■ ダイアログの表示を省略

Windows 7では、セキュリティ上の観点から、一部設定で操作の許可を求めるダイアログが表示されます。

本書では、これらダイアログの表示を省略して説明しています。

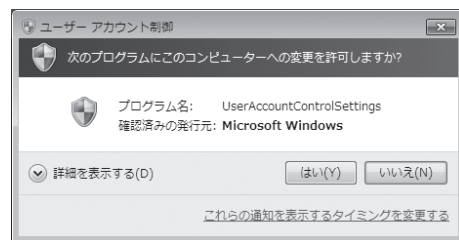
表示されるダイアログは、使用しているユーザーアカウントの権限やユーザーアカウント制御の設定によって異なります。ダイアログが表示された場合は、次のように操作してください。

・アカウントの種類が「管理者」の場合

[はい] ボタンをクリックします。

・アカウントの種類が「標準ユーザー」の場合

アカウントの一覧が表示されます。「管理者」のアカウントにパスワードを入力して、[OK] ボタンをクリックします。



ONKYO電子マニュアルについて

ONKYO電子マニュアルでは、本書で説明しきれないWindows 7の基本的な操作方法や、インターネットや電子メールの設定方法などを説明しています。必要に応じて参照してください。
ONKYO電子マニュアルはデスクトップ上のアイコンから簡単に起動できます。

起動

1. デスクトップ上にある「ONKYO電子マニュアル」のアイコンをダブルクリックします。

ONKYO電子マニュアルが起動します。



画面の構成



① 項目

ONKYO電子マニュアルの内容を、種類ごとにわけたメニューです。
クリックすると、項目ごとに本文見出しが表示されます。

② 本文見出し

項目ごとに用意された、見出しの一覧です。
クリックすると、本文見出しごとに小見出しが表示されます。

③ 小見出し

本文見出しごとに用意された、見出しの一覧です。
本文見出しによっては、小見出しがない場合があります。

操作方法

1. 項目をクリックします。

項目に対応した本文見出しが、画面左側に表示されます。



2. 本文見出しをクリックします。

本文見出しに対応した本文が、画面右側に表示されます。



本文見出しによっては、小見出しのないものがあります。



3. 小見出しをクリックします。

小見出しに対応した本文が、画面右側に表示されます。



仕様と注意事項

- ONKYO電子マニュアルは、Windows 7に標準搭載のInternet Explorer 8.0で閲覧することを前提に制作しております。
- ONKYO電子マニュアルは、本製品以外での動作は保障いたしかねます。
- ONKYO電子マニュアルは、オンキヨー株式会社の著作物です。
- ONKYO電子マニュアルの内容は、予告なしに変更される場合があります。またONKYO電子マニュアルを運用した結果については、一切の責任を負わないものとします。
- ONKYO電子マニュアルで紹介されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。
- ONKYO電子マニュアルは、著作権法によって保護されています。一部または全部を無断で複製、転載、改変、カスタマイズ、頒布することを禁じます。特にONKYO電子マニュアルを編集および改変してご利用になると、本製品の誤使用の原因となります。

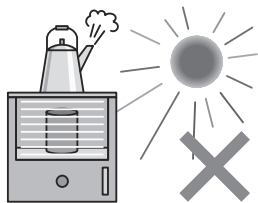
置き場所について

本機が手元に届いたら、まず、設置場所を決めてください。

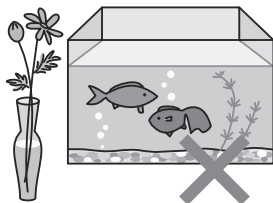


■ 置いてはいけない場所

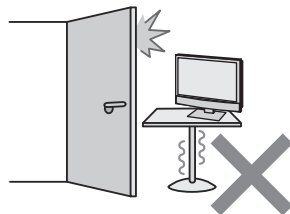
直射日光のあたる場所、ストーブなど熱源の近く



水がかかりそうな場所

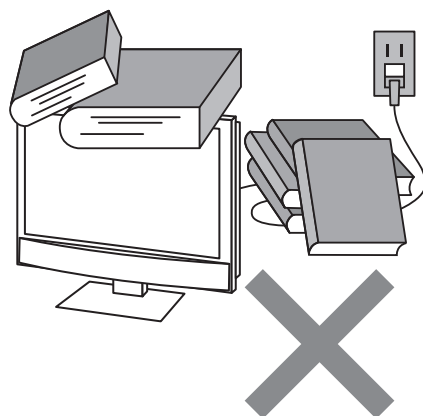


不安定な場所、物がぶつかりそうな場所



■ 管理について

本体および電源ケーブルの上に重いものをのせたり、通風孔を塞いだりしないでください。



■ 正しい姿勢について

次のように正しい姿勢で、パソコンの前に座ってください。



電源のON/OFF

電源をON/OFFする方法を説明します。

電源をOFFにするときは、作業状況に応じて複数の終了方法が選択できます。

電源のON


本機の電源をONにします。Windowsのセットアップが終了すれば、次に電源をONにしたとき、そのままWindows 7のデスクトップ画面が表示されます。

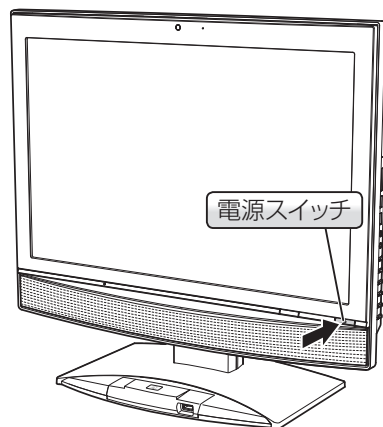
1. 電源スイッチを押します。

しばらくすると、Windows 7のデスクトップ画面が表示されます。

※表示されるデスクトップ画面は、ご購入いただいたパソコンによって異なります。



ユーザーアカウントにパスワードを設定している場合は、ログオン画面が表示されます。パスワードを入力して、をクリックします。



電源のOFF

電源をOFFにするには、「シャットダウン」をおこないます。また、いったん電源をOFFにし、自動的に電源をONにし直す「再起動」も選択できます。

■ シャットダウン

すべてのソフトウェアを終了させて電源をOFFにする場合は「シャットダウン」を選択します。

1. [スタート] ボタン→ [シャットダウン] ボタンを選択します。



注意

シャットダウンの操作で終了せず、いきなり電源スイッチを押して電源をOFFにする動作を繰り返すと、Windows 7のシステムが壊れて、Windows 7の再セットアップが必要になることがあります。電源をOFFにするときは正しい手順で操作してください。



本機の電源が完全にOFFになります。

次回、電源をONにするときは、電源スイッチを押します。

■ スリープ

作業を中断して、本機の使用をすぐに再開できる「スリープ」機能があります。

1. [スタート] ボタン→[終了オプション] ボタンを選択します。

「終了オプション」メニューが表示されます。



2. [スリープ] を選択します。

スリープ状態に入ります。

スリープ状態から元の状態に戻すには、電源スイッチを押します。



スリープとは？

スリープとは、直前の作業状態をメモリーとハードディスクに保存した状態で、Windowsを終了することです。Windows終了後はメモリーにだけ通電し続けます。

スリープの1番の利点は、起動時間の短縮です。スリープ状態から本機の電源スイッチを押すと、5秒程度でログオン画面が表示されます。

通常の起動

1分以上

スリープからの
起動

5秒程度



「終了オプション」メニューのその他の項目

「ユーザーの切り替え」：Windowsを終了せずに、別のユーザーアカウントに切り替えます。切り替え前の作業状態は保持されます。

「ログオフ」：Windowsを終了せずに、別のユーザーアカウントに切り替えます。切り替え前の作業状態は無効になります。

「ロック」：作業状態を保持したまま、Windowsを使用できない状態にします。一時的に離席するときなどに使用します。



ユーザーアカウントの作成方法については、ONKYO電子マニュアル（P.2ページ）を参照してください。

■ 再起動

デバイスドライバーのインストールが終了したあとや、Windowsの動作が不安定（画面が乱れたり、画面が動かない）になったときは、Windowsを再起動させます。

[スタート] ボタン→[終了オプション] ボタンを選択し、[再起動] を選択すると、再起動が実行されます。



アプリケーションソフトの操作中に、マウスカーソルが動かなくなってしまったときなど、操作が続けられないときは、**Ctrl** + **Alt** + **Delete** キーを同時に押して「タスクマネージャーの起動」を選択して、特定のアプリケーションソフトを終了させることができます。

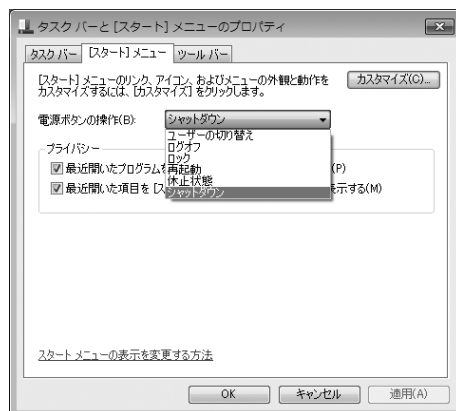
「電源ボタン」の動作を変更する

【スタート】メニューの【電源】ボタンを、他の項目に変更することができます。

ここでは、動作を変更する手順について説明します。

初期設定ではシャットダウンに設定されています。

1. 【スタート】ボタンを右クリックして表示されるメニューから、【プロパティ】を選択します。
【タスクバーと【スタート】メニューのプロパティ】が表示されます。
2. 「電源ボタンの操作」から、設定したい電源ボタンの動作を選択します。
3. 【OK】ボタンをクリックします。



ユーザーアカウントの切り替え

本機に複数のユーザーアカウントが登録されているとき、本機の電源をONにしたままで、ユーザーアカウントを切り替えることができます。

1. [スタート] ボタン→[終了オプション] ボタンを選択します。

「終了オプション」メニューが表示されます。



2. [ユーザーの切り替え] または [ログオフ] を選択します。

[ユーザーの切り替え] を選択すると、現在のユーザーアカウントをログオンしたまま、ユーザーアカウントを切り替えることができます。

[ログオン] を選択すると、現在のユーザーアカウントをログオフします。



3. 本機の使用を開始するユーザーアカウントを選択します。



- ・パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。
- ・パスワードが拒否された場合は、大文字と小文字を間違っていないか再度ご確認ください。Windows 7では、Tarouとtarouは違う文字列として判別されます。



しばらくすると、Windows 7のデスクトップ画面が表示されます。

※表示されるデスクトップ画面は、ご購入いただいたパソコンによって異なります。

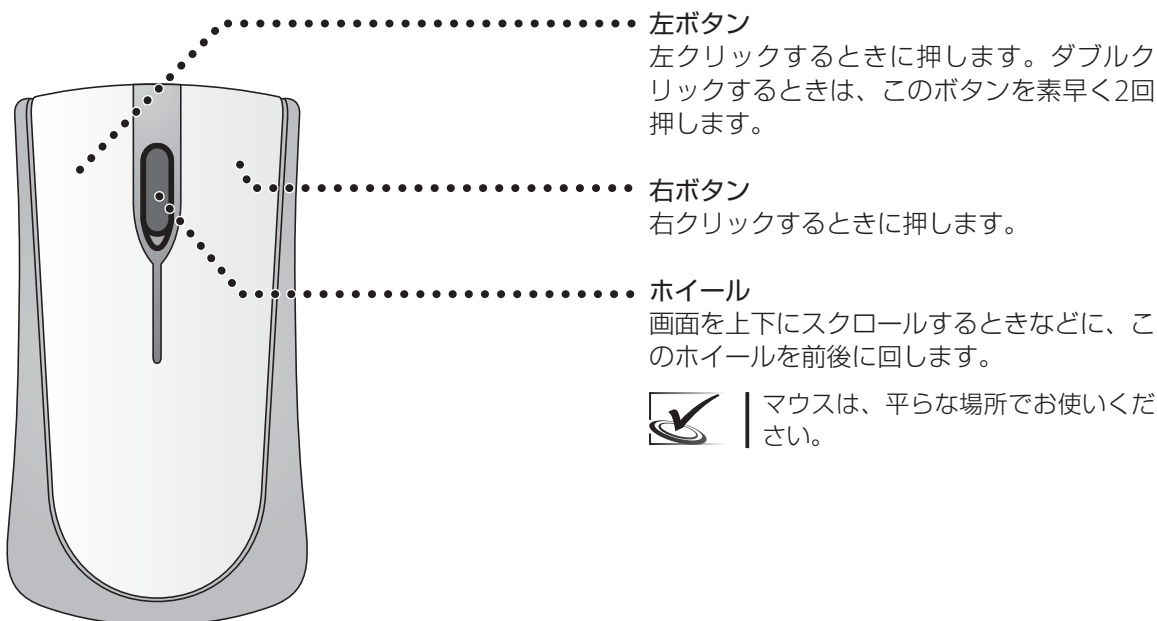


マウスの使用

Windowsでは、文字の入力以外、ほとんどの操作をマウスでおこないます。ここでは、マウスの基本操作を説明します。

マウスの名前とはたらき

マウス各部の名前とはたらきは次のようになっています。



マウスは、平らな場所でお使いください。

スクロールの操作

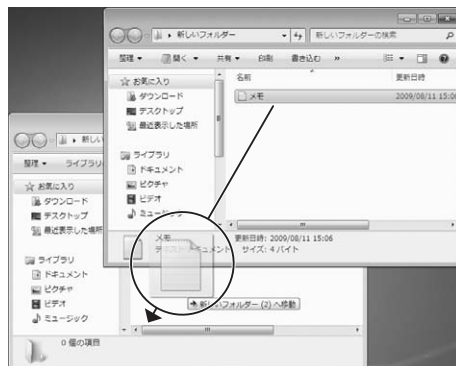
縦に長いホームページなどをスクロールさせて見るときは、マウスのホイールを前後に回します。



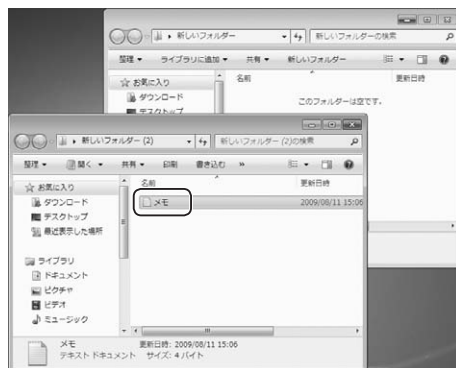
ドラッグアンドドロップの操作

ファイルの移動(コピー)はドラッグアンドドロップという操作でおこないます。

1. 移動したいアイコンを選択し、左ボタンを押したまま、移動先までマウスを動かします(ドラッグします)。



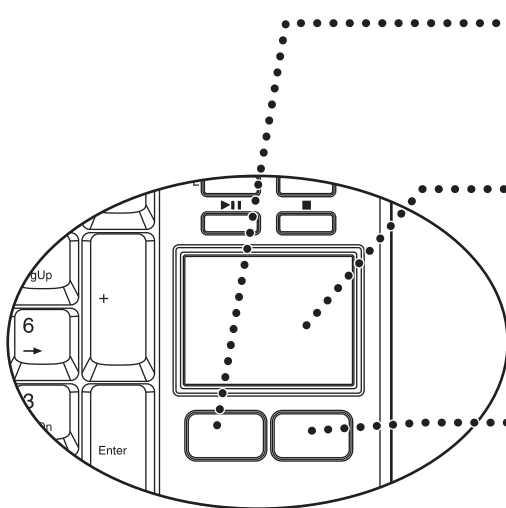
2. マウスのボタンを離します(ドロップします)。選択したファイルが移動(またはコピー)されます。



タッチパッドの使用

本機では、文字の入力以外、ほとんどの操作をタッチパッドでおこないます。ここでは、タッチパッドの基本操作を説明します。

タッチパッドの名前とはたらき



左ボタン

左クリックするときに押します。ダブルクリックするときは、このボタンを素早く2回押します。

タッチパッド

指を触れて動かすと、画面上のマウスポインターがその動きに応じて動きます。指で軽く"トン"と1回たたくと左クリック、"トントン"とたたくとダブルクリックがボタンを使わずにできます。

右ボタン

右クリックするときに押します。Windowsでは、右クリックするとショートカットメニューが表示されます。



タッチパッドの左ボタンを使用して、マウスと同様にドラッグアンドドロップの操作 (11ページ) ができます。



- ・タッチパッドをペン先などの先の尖ったもので触れないでください。故障の原因となります。
- ・2本以上の指や手袋をした指、また、濡れた指などで操作しないでください。正常に動作しません。また、指先の皮脂や汚れによっても正常に動作しない場合があります。そのときは、十分に汚れを取り除いてからご使用ください。
- ・マウスポインターはタッチパッドを軽く触れるだけで動作します。必要以上に力を入れたり無理な姿勢で操作すると、指や手首を傷める原因となります。

キーボードの使用

キーボードは、文字や記号を入力したりパソコンへ指示をする役目をもっています。ここでは、キーボードの各キーの名前や機能について説明します。

キーボードの各部の役割








キーはその機能によって、役割が大きく分かります。


本書では便宜上、色分けをして説明しています。実際のキーボードは色分けされていません。



■ Windowsキー

単独で押すとWindowsの「スタート」メニューを表示します。次のキーと合わせて押すと、Windowsの代表となる機能がすぐに使えます。

-  + **F1** Windowsの「Windowsヘルプとサポート」を表示
-  + **M** ウィンドウの最小化
-  + **T** タスクバーに表示されているボタンの切り替え
-  + **R** 【ファイル名を指定して実行】ダイアログを表示
-  + **E** 【コンピューター】ウィンドウを表示
-  + **F** ファイルとフォルダー検索画面を起動
-  + **Pause** 【システム】ダイアログを表示

 HomePremiumモデルをご導入の場合、Windows Aero機能を使用すると、 + **Tab** キーの操作で、Windowsフリップ3Dによるソフトウェアの切り替えができます。

■ アプリケーションキー

マウスの右ボタンに相当します。使用するアプリケーションによって動作が異なります。お使いのアプリケーションソフトのマニュアルを参照してください。

■ 制御キー(灰色の部分)

文字入力キーと組み合わせて使うキー、入力位置を決めるキー、パソコンに対してコマンド(命令)を送るキーなどです。これらのキーだけを使って文字を直接入力することはできません。

■ 文字入力キー

主に、アルファベットやひらがな、カタカナ、数字、記号などを入力するためのキーです。1つのキーに2つ以上の文字が割り当てられており、**CapsLock** **Shift** **NumLock** **ひらがな** **カタカナ**の各キーと組み合わせ、目的の文字が入力できます。

■ タッチパッド

マウスと同じはたらきを持ち、マウスを使わずにWindowsを操作できます。(12ページ)

■ ワンタッチで割り当てられている機能を実行する

① e-mailボタン

メールソフトを設定しておく、設定したメールソフトが起動します。

② インターネットボタン

Internet Explorerが起動します。Internet Explorerの使用時に押すと、設定されたホームページにジャンプします。

■ 音量を調整する

③ ボリュームアップボタン

1回押すごとに、パソコンから出力される音量が大きくなります。

④ ボリュームダウンボタン

1回押すごとに、パソコンから出力される音量が小さくなります。

■ 音楽CD、DVDビデオ、音声ファイル、ビデオファイルを操作する

⑤ 再生/一時停止ボタン

ファイル、トラックを再生/一時停止します。

⑥ 停止ボタン

ファイル、トラックを停止します。

■ テレビを操作する

⑦ チャンネルアップボタン

テレビのチャンネルを切り替えます。

⑧ チャンネルダウンボタン

テレビのチャンネルを切り替えます。

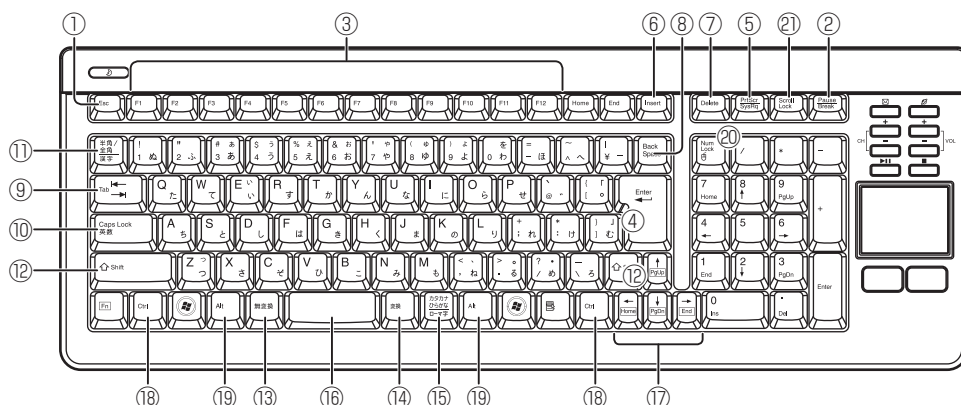
■ 電源を操作する

⑨ スリープボタン

本機をスリープ状態に切り替えます。

各キーの機能

ワイヤレス日本語キーボード



■ 中止や中断させるコマンド(命令)を送る

- ① **Esc(エスケープ) キー**
設定を取り消したり、実行を中止します。
- ② **Pause/Break(ポーズ/ブレイク) キー**
ソフトウェアによっては動作が割り当てられており、実行されている命令を中断したり、ブレイク信号を送ります。

■ 設定されている機能呼び出す

- ③ **ファンクションキー**
[F1]から[F12]キーまでの12個のキーにそれぞれ別の機能やコマンド(命令)が割り付けられています。キーを押したときの動作はソフトウェアにより異なります。

■ コマンド(命令)や設定された機能を決定する

- ④ **Enter(エンター) キー**
あるコマンド(命令)の実行を決定したり、設定された機能を確定させます。文字を入力しているときは、このキーで改行できます。

■ 画面のハードコピーをとる

- ⑤ **PrtScr(プリントスクリーン) キー**
表示されている画面を取り込んでクリップボードに転送します。

■ 文字を編集する

- ⑥ **Insert(インサート) キー【ロックされます】**
文字入力のモードを切り替えます。1回押すごとに、カーソル位置にある文字の間に入れる「インサートモード」と、カーソル位置の文字に上書きする「オーバーライトモード」が切り替わります。
- ⑦ **Delete(デリート) キー**
カーソル位置から右側の文字を削除します。カーソル位置は変わりません。

⑧ Back Space(バックスペース)キー

カーソル位置から、左側の文字を削除します。カーソル位置は左に動きます。

⑨ Tab(タブ)キー

文字を入力しているときに押すと、タブが入りカーソルが右に移動します。

表計算やデータベースなどのアプリケーションでは、次の項目への移動などに使われます。

■ 文字入力キーと組み合わせて、文字を入力する

⑩ Caps Lock(キャップスロック)・英数キー【ロックされます】

アルファベットを入力するときの文字種を切り替えます。**[Shift]**キーと同時に1回押すごとに、「大文字モード」と「小文字モード」が切り替わります。ひらがな/カタカナモードから、アルファベットや数字を入力する英数モードに切り替えるときにも使います。

⑪ 半角/全角キー【ロックされます】

文字を入力しているときの文字種を切り替えます。

Windowsの日本語入力システムMicrosoft IMEでは、1回押すごとに「日本語入力モード」がオン/オフになります。

⑫ Shift(シフト)キー

ほかのキーと同時に押して別の機能を実行したり、実行方法を変えたりすることができます。たとえば、「大文字モード」で文字を入力しているときに、アルファベットキーと同時に押すと、小文字で入力することができます。

■ 空白を入れたり、漢字に変換する

⑬ 無変換キー

日本語入力システムを使っているときに、入力した文字を漢字などに変換したくない場合に押すと、入力モードが変わります。

⑭ 変換キー

日本語入力システムを使っているときに、入力した文字を漢字などに変換します。

⑮ カタカナ/ひらがなキー【ロックされます】

「カタカナモード」と「ひらがなモード」を切り替えます。

「カタカナモード」のときはこのキーだけ押すと「ひらがなモード」に、「ひらがなモード」のときは

[Shift]キーと同時に押すと「カタカナモード」に切り替わります。

[Ctrl] + [Shift]キーと同時に押すと、カナキー入力のオン/オフを切り替えることができます。

⑯ スペースキー

文字を入力しているときに押すと、スペース(空白)が入ります。

■ カーソルを動かす

⑰ カーソルキー

キーに表記されている矢印の方向に、カーソルが移動します。

■ ほかのキーと組み合わせて機能を実行する

⑱ Ctrl(コントロール) キー

文字入力キーや、ほかの制御キーと組み合わせて使うと、特定の動作ができます。

⑲ Alt(オルト) キー

オルタネートキーともいい、文字入力キーや、他の制御キーと組み合わせて使うと、特定の動作ができます。

⑳ NumLock(ニューメリックロック) キー【ロックされます】

ロックすると、テンキーを数字を入力するための専用キーとして動作させます。ロックを外すと、テンキーを特定の動作キーとして動作させます。工場出荷時はロックが外れた状態になっています。

㉑ ScrollLock(スクロールロック) キー【ロックされます】

使用しているソフトウェアにより動作は異なりますが、通常はカーソルキーの動きを変えることができます。

工場出荷時はロックが外れた状態になっています。

CD-ROMやDVDなどの光ディスクの使用



ここでは、CD-ROMやDVDなどの光ディスクを使う方法について説明します。

使用できる光ディスク

光ディスクドライブでは、CD-ROM、DVDなどの光ディスクが使用できます。



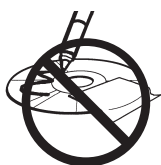
- ・お届けした製品は、お客様が希望されたB.T.O.の構成で出荷されています。したがって、本機の光ディスクドライブによっては、使用できる光ディスクの種類が異なります。
- ・書き込み可能な光ディスク（CD-R、CD-RW、DVD-Rなど）は、書き込み専用のソフトウェアが必要です。

光ディスクを使うときの注意

光ディスクドライブや、CD-ROMおよびDVDなどの光ディスクの取り扱いにあたっては次の点に十分注意してください。また、光ディスクを使わない場合は、パソコンの電源をOFFにする前にドライブから取り出して、適切な場所に保管してください。



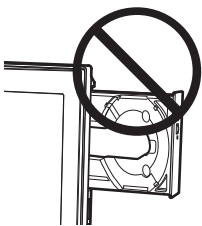
清掃するときは、レコード用クリーナーやベンジン、シンナーではなく、必ずCDやDVD専用のクリーナーを使ってください。また、レンズクリーナーは乾式のものを使用してください。湿式は汚れを増長させますので絶対に使わないでください。



記録面にラベルを貼ったり、ペンなどで字を書かないでください。



強い衝撃を与えたり表面に傷を付けしないでください。また、ゴミやホコリの多い場所に置かないでください。読み込みエラーの原因となります。



トレイを開けたままにしておかないでください。内部にゴミやホコリが入り込んで故障の原因となります。

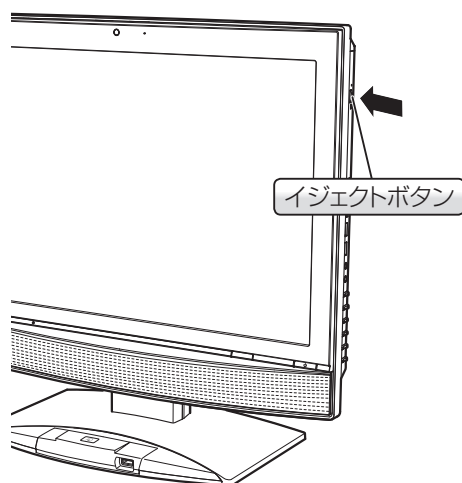
光ディスクの出し入れ

1. イジェクトボタンを押します。

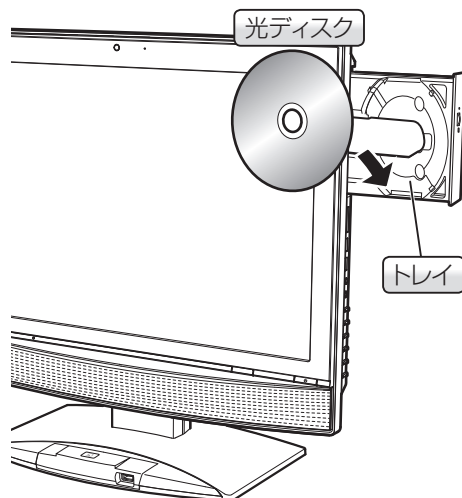
トレイが出てきます。



本機の光ディスクドライブは、本機の電源がONになっていないと動作しません。



2. 光ディスクの記録面をトレイ側に向けて、トレイにセットします。



3. トレイを押し込み、光ディスクドライブを閉じます。

4. 光ディスクを取り出すときは、再度イジェクトボタンを押します。

トレイが出てくるので、光ディスクを取り出します。

音量の調整

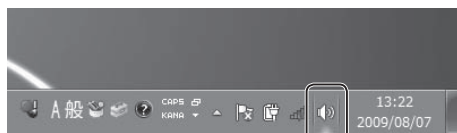
本機には、サウンド機能が搭載されており、音声を出力できます。ここでは、音声の音量を調整する方法を説明します。

Windowsから調整する

Windowsを使って、音量を調整します。

1. デスクトップ画面右下のタスクバーにある [スピーカー] アイコンをクリックします。

音声を調整する画面が表示されます。



2. 次の項目を設定します。

①音量

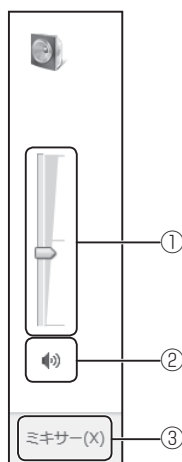
ドラッグして、音量を調整します。

②ミュート

音声のON/OFFを切り替えます。

③ミキサー

内蔵スピーカーおよび外付けスピーカー・ヘッドホンなどから出力される音声と、Windowsのシステムが出す音声を、個別に設定します。



キーボードから調整する

キーボードの「ボリュームアップボタン」を押すごとに音量が上がり、「ボリュームダウンボタン」を押すごとに音量が下がります。(P.14ページ)

表示画面の変更

壁紙やウィンドウのデザインなど、表示される画面のデザインを任意に変更することができます。ここでは、表示される画面のデザインを変更する方法について説明します。

視覚効果と音の変更

壁紙やウィンドウ、効果音など、あらかじめWindowsに用意されたデザインに変更します。

1. デスクトップ上で右クリックして表示されるメニューから、**【個人設定】**を選択します。

【個人設定】ダイアログが表示されます。



2. 表示されるテーマの一覧から、設定したいテーマを選択します。

選択したテーマにしたがい、デザインが変更されます。



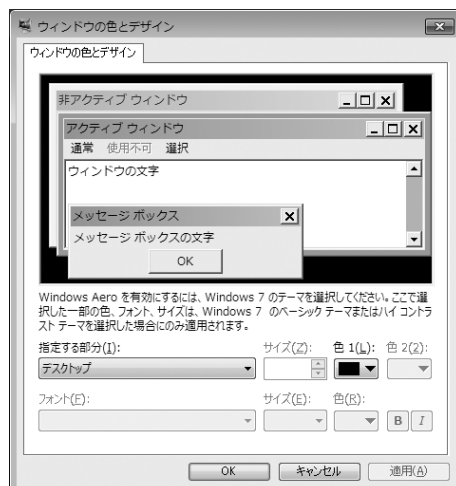
壁紙の変更

【個人設定】ダイアログから**【デスクトップの背景】**を選択すると、デスクトップの背景（壁紙）を変更できます。背景は、Windowsにあらかじめ用意されているものから選択したり、自分で用意した画像に変更することができます。



デザインの變更

【個人設定】ダイアログから「ウィンドウの色」を選択すると、ウィンドウのデザインを変更できます。ウィンドウのパーツごとに、色やフォントを変更できます。



マウスポインターの變更

【個人設定】ダイアログから「マウスポインターの變更」を選択すると、マウスポインターの形状を変更できます。



解像度の変更

デスクトップ上で右クリックして表示されるメニューから、「画面の解像度」を選択すると、画面の解像度を変更できます。



ワイヤレスLANの使用

ワイヤレスLAN搭載モデルのみ



本機には、「IEEE802.11nドラフト」および「IEEE802.11b/g」規格に準拠したワイヤレスLANモジュールが内蔵されており、他のパソコンと無線通信ができます。

ワイヤレスLANとは

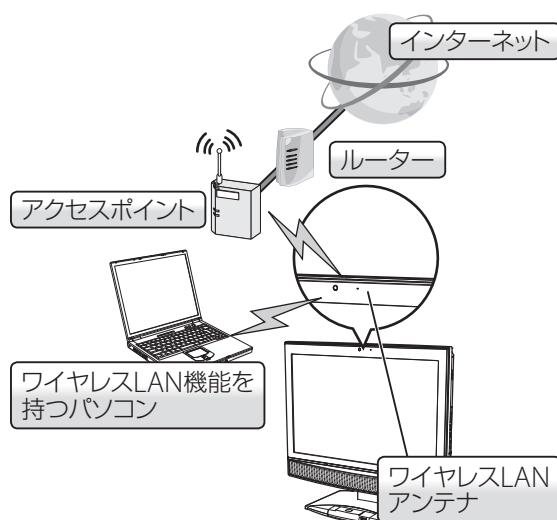
ワイヤレスLANとは、LANケーブルを使わないで、無線通信でデータをやり取りするLANのことです。「アクセスポイント」と呼ばれる別売の中継機器や、ワイヤレスLAN機能を持つ他のパソコンと無線通信でデータをやり取りできます。

インターネットにも接続可能

市販のルーターにアクセスポイントを接続して、本機にケーブルを接続することなく、ワイヤレスLANでインターネットに接続できます。



- ・ワイヤレスLAN機能は、IEEE802.11nドラフト、IEEE802.11b、IEEE802.11g方式に準拠しています。それ以外の方式およびBluetooth方式対応の通信機器とは通信できません。
- ・電波障害によるノイズの発生など他の機器に影響を与える場合や、ワイヤレスLANの機能を使わないときは、ワイヤレスLAN機能をOFFにしてください。
- ・無線機器の使用が禁止されている区域では使用しないでください。



セキュリティに関するご注意

ワイヤレスLANでは、電波で情報のやり取りをおこなうため、セキュリティに関する設定をおこなっていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、次のような通信内容を盗み見られる可能性があります。

- ・IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
- ・メールの内容

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、次のような行為をされてしまう可能性があります。

- ・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- ・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- ・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- ・コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

セキュリティの設定をおこなわないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定をおこない、ワイヤレスLANを使用してください。

ワイヤレスLANの仕様

ワイヤレスLANモジュールの仕様です。

※通信速度、通信距離は使用状況、電波環境、接続機器、使用のアプリケーションなどにより異なります。

※通信速度は規格による速度（理論値）であり、実際のデータ転送速度とは異なります。

規 格	IEEE802.11nドラフト準拠 (2.4GHz/5GHz帯) IEEE802.11b/g準拠 (2.4GHz帯)
最大通信速度	150Mbps (IEEE802.11nドラフト) 54Mbps (IEEE802.11g) 11Mbps (IEEE802.11b)

※通信中にレーダー波（気象レーダーなど）を検出した場合、チャンネルの自動変更のため通信が中断される場合があります。

ワイヤレスLANに接続する

■ 自動認識での設定

1. ワイヤレスLAN LEDが点灯していることを確認します。



接続可能なワイヤレスLANが検出されると、タスクバーにメッセージが表示されます。

2. 通知領域に表示された【ワイヤレスネットワーク】アイコンをクリックします。
ネットワークの一覧が表示されます。

3. ネットワークの一覧から、使用するワイヤレスネットワーク（アクセスポイント）を選択して、【接続】ボタンをクリックします。



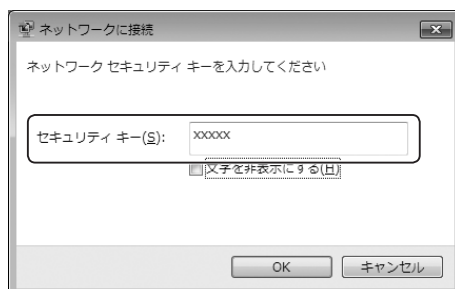
セキュリティキーを設定している場合、【ネットワークに接続】ダイアログが表示されます。

- ・セキュリティキーを設定していない場合は、そのままワイヤレスLANに接続されます。
- ・一覧に接続可能なネットワーク（アクセスポイント）が表示されない場合は一覧の右上にある （更新）をクリックします。

4. 「セキュリティキー」を入力して、【OK】ボタンをクリックします。



本機がワイヤレスLANに接続されます。



■ 手動での設定

1. 「自動認識での設定」(※24ページ)の手順1～2を実行します。

ネットワークの一覧が表示されます。

2. 「ネットワークと共有センターを開く」をクリックします。

【ネットワークと共有センター】ウィンドウが表示されます。



3. 「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックします。

【接続またはネットワークのセットアップ】ダイアログが表示されます。

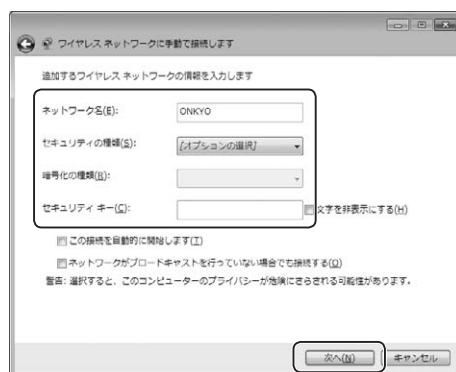


4. 「接続オプションを選択します」の一覧から「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。

【ワイヤレスネットワークに手動で接続します】ウィンドウが表示されます。



5. 「ネットワーク名」、「セキュリティの種類」、「暗号化の種類」、「セキュリティキー」を設定して、[次へ] ボタンをクリックします。
ネットワークの一覧が表示されます。



6. 「自動認識での設定」(※24ページ) の手順3～4を実行します。



別途、ネットワーク設定が必要な場合があります。

WEBカメラを使用する

WEBカメラ搭載モデルのみ

本機に搭載されているWEBカメラと付属のWEBカメラソフト「YouCam」を使用して、静止画や動画を撮影できます。ここでは、YouCamの主な機能と起動方法を説明します。

WEBカメラソフトの主な機能

YouCamの主な機能は、次のとおりです。

・静止画の撮影

WEBカメラから静止画を撮影できます。

・動画の撮影

WEBカメラから動画を撮影できます。



各機能の詳細については、YouCamのヘルプを参照してください。

WEBカメラソフトを起動する

WEBカメラソフトYouCamを起動します。

1. デスクトップにある「CyberLink YouCam」アイコンをダブルクリックします。

【CyberLinkユーザ登録】画面が表示されます。



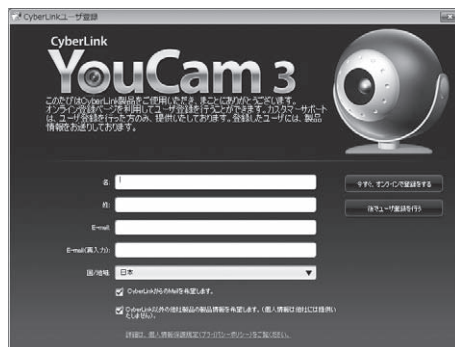
すでにユーザー登録をおこなっている場合は、手順3の画面が表示されます。



2. あとでユーザー登録をおこなう場合、[後でユーザー登録を行う]をクリックします。



ここでユーザー登録をおこなう場合は、画面の各項目を入力し、[今すぐ、オンラインで登録をする]をクリックし、画面の指示にしたがってください。



3. YouCamを終了するには、【CyberLink YouCam】画面右上の❌をクリックします。



■ ヘルプを見る

YouCamのヘルプを起動する方法は、次のとおりです。

1. 【CyberLink YouCam】画面右上の?をクリックします。
ヘルプが起動します。



周辺機器の接続

本機には、さまざまな周辺機器が接続できます。

使用する

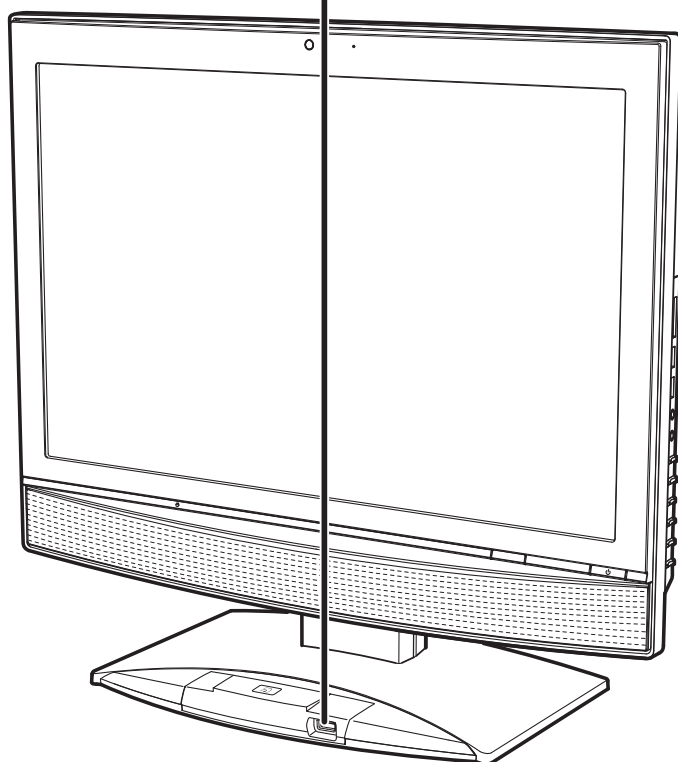
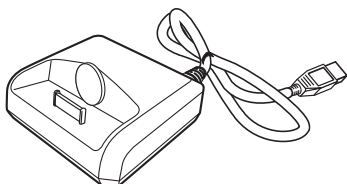
まえ



iPodクレイドル以外のUSB機器は、本機背面および本機側面のUSBポートに接続してください。

USBポート

iPodクレイドル (※38ページ)



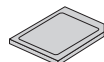
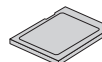
周辺機器を使用する

トラブルの対応

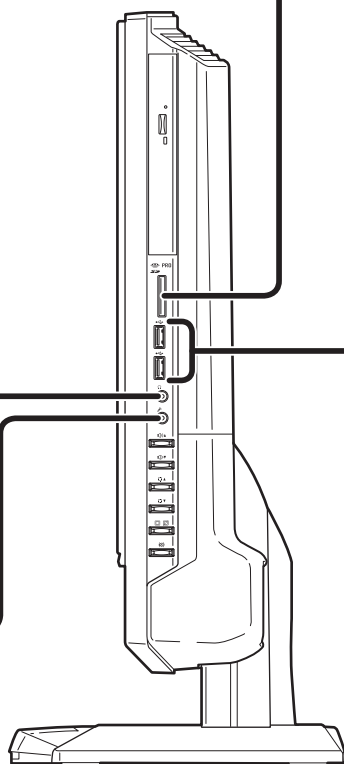
みぎ

メモリーカードスロット

メモリーカード (☞40～42ページ)



- ・メモリースティック
- ・SDメモリーカード
- ・MMC
- ・メモリースティックPRO
- ・SDHCメモリーカード



ヘッドホン端子

ヘッドホン
(☞35ページ)



マイク端子

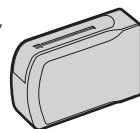
マイクロホン
(☞34ページ)



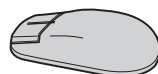
USBポート

USB2.0対応の周辺機器
(☞36ページ)

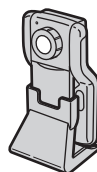
・カードリーダー/
ライター



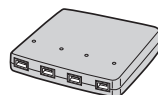
・USB対応マウス



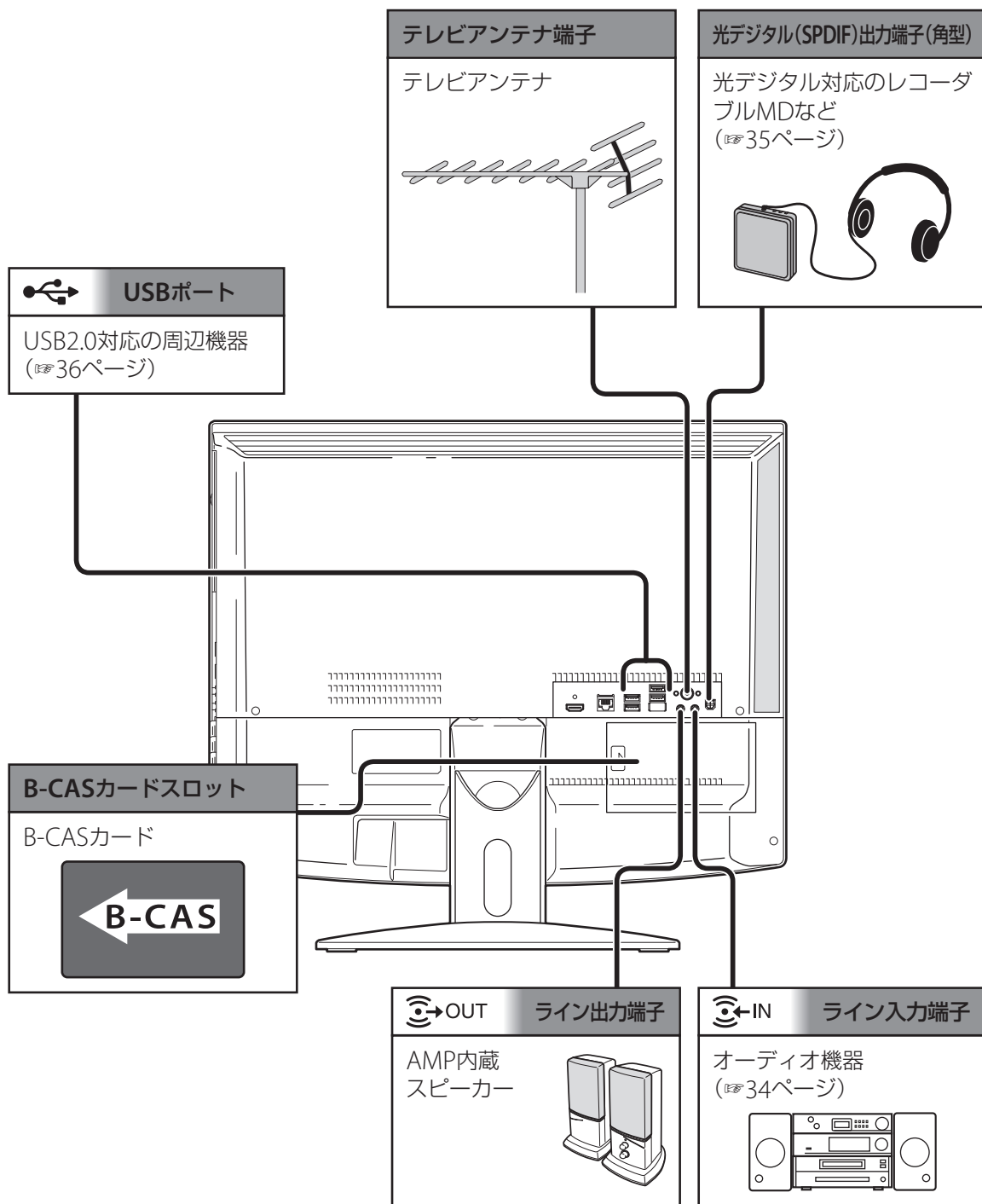
・CCDカメラ



・USBハブ
など



うしろ



周辺機器を使用するには

周辺機器を取り付ける前に、まず確認したり、周辺機器を作業しなければならないことを説明します。

電源をOFFにする

ケーブル類や、周辺機器を取り付けるときは、本機の電源をOFFにし、電源ケーブルをACコンセントから取り外します。



電源ケーブルが接続されたまま周辺機器を取り付けると、本機を壊したり、感電する恐れがあります。



USB対応の機器は、パソコンの電源をONにしたまま、取り付けや取り外しができます。

1. 本機の電源をOFFにします。
「電源のOFF」(P.6ページ)
2. 本機の電源ケーブルを、コンセントから取り外します。
3. 周辺機器を取り付けます。



本体内部の機器を取り付けたり、取り外したりするときは、金属のへりだけでがをしないよう、手袋をして作業をするなど十分に気を付けてください。

取り付け時の注意事項

■ 体の静電気を取り除いてください

基板がむき出しになっているW-LANモジュールなどは、静電気に弱く、帯電した手で触ると壊れてしまう恐れがあります。ドアのノブなど、身近な金属に触れて、体に帯電している静電気を取り除いてから、これらの機器を取り付けてください。

■ ユーザーズガイドをよく読んでください

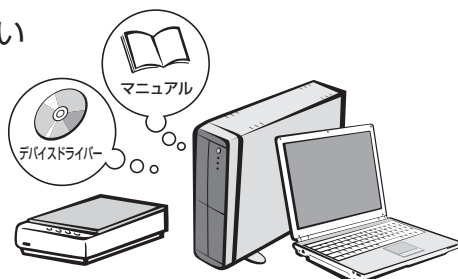
周辺機器などは、取り外しや取り付けを間違えると、機器を壊してしまう恐れがあります。

本書をよく読んでから、周辺機器を取り付けてください。

■ 周辺機器に付属のマニュアルをよく読んでください

周辺機器に付属のマニュアルには、取り付け方法や、取り付けたあとに必要なとなるソフトウェアやハードウェアの設定方法が詳しく書かれています。

周辺機器のマニュアルをよく読み、必要な機器、および必要な設定ファイル(デバイスドライバーなど)を理解し、これから始める接続作業に備えてから、周辺機器を取り付けてください。



プラグアンドプレイについて

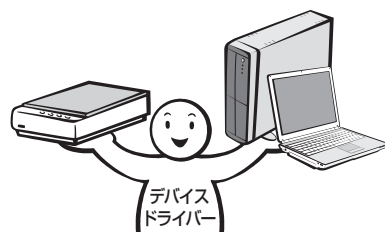
Windowsには、周辺機器を取り付けるだけで、すぐに使用できる状態に設定する「プラグアンドプレイ」という機能があります。プラグアンドプレイを実現するには、周辺機器に対応したデバイスドライバーがWindows側で用意されている必要があります。

用意されていない場合は、Windowsのウィザード機能を使って、デバイスドライバーをWindowsにインストールします。



周辺機器を使うときは、「デバイスドライバー」と呼ばれる周辺機器をコントロールするソフトウェアが必要です。

デバイスドライバーは、あらかじめ本機のWindows側で用意されている場合と、周辺機器に付属している場合（CD-ROMディスクなどで提供されています）があります。周辺機器メーカーのホームページから入手することもできます。



■ デバイスドライバーがWindowsにある場合

周辺機器に対応したデバイスドライバーが、すでにWindows側で用意されている場合は、周辺機器を取り付けるだけで、すぐに使える状態になります。

1. 周辺機器を取り付けたあとに、電源をONにします。

デスクトップ画面右下のタスクバーに、「デバイスを使用する準備ができました」と吹き出しが表示されます。

これで、周辺機器が使えるようになります。



プラグアンドプレイに対応した周辺機器でも、設定が自動でおこなわれない場合があります。

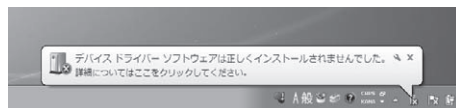
■ デバイスドライバーがWindowsにない場合

周辺機器を取り付けたあとに電源をONにすると、デスクトップ画面右下のタスクバーに、デバイスドライバーのインストールが失敗したことをあらわす吹き出しが表示されます。

周辺機器に付属のマニュアルをお読みのうえ、デバイスドライバーをインストールしてください。

通常、デバイスドライバーは次の方法で配布されています。

- ・ 周辺機器に付属のCDに収録
- ・ 周辺機器の製造元がWebサイトで公開



プラグアンドプレイに対応していない周辺機器の場合、デバイスドライバーの組み込みや、リソースの設定を自分でおこなう必要があります。また、周辺機器側のディップスイッチなどを変更する必要があります。

詳細は、お使いの周辺機器メーカーへお問い合わせください。

AV機器との接続

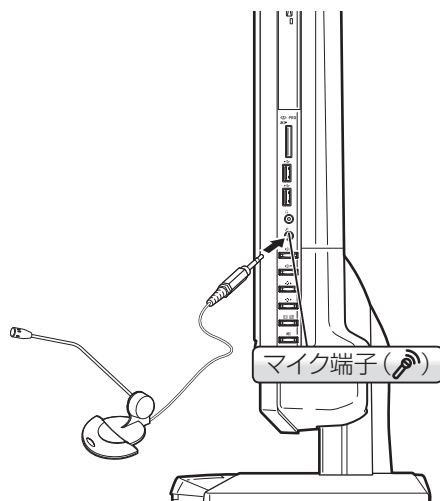
本製品と接続できるAV機器の紹介と接続方法を説明します。

マイクホンと接続する

市販のマイクホンのプラグを、本機のマイク端子 (🎤) に接続すると、マイクホンから音声を録音できます。



- ・マイクホンをご利用の場合は、初期設定のミュートを解除してからご利用ください。
- ・マイクホンにはステレオタイプのミニピンプラグ付きマイクホンを、電器店などでお求めください。
- ・スピーカーにマイクホンを近づけると、スピーカーとマイクホンが共振し、キーンという音が出る場合があります。これを「ハウリング」と呼びます。ハウリングは、マイクホンをスピーカーから遠ざけるか、入力レベルを小さくする（ボリュームコントロールで調整）ことで防ぐことができます。



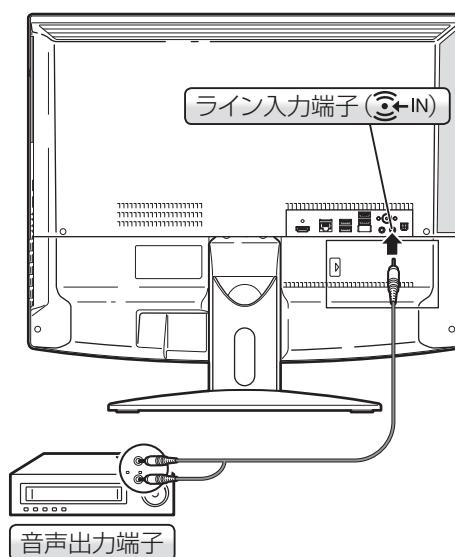
オーディオ機器と接続する

市販のオーディオ機器を接続すると、オーディオ機器からの音声をスピーカーから出力したり、本機に録音できます。

1. ステレオミニピンプラグ付きオーディオケーブルを、本機のライン入力端子 (🎧-IN) に接続します。
2. オーディオケーブルのもう一方のプラグを、オーディオ機器の音声出力端子に接続します。



- ・ステレオミニピンプラグ付きのオーディオケーブルは、電器店などでお求めください。
- ・Windowsの「サウンドレコーダー」を使用すると、オーディオ機器からの音声を録音できます。



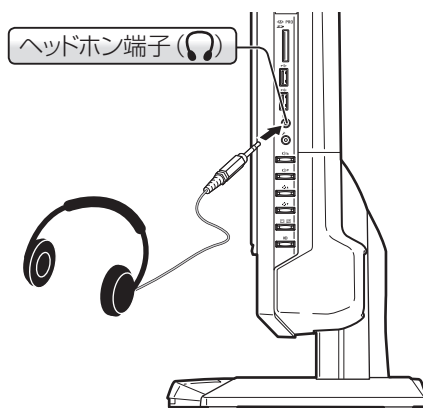
ヘッドホンと接続する

市販のヘッドホンを接続すると、スピーカーから音声を出力しないでヘッドホンから出力できます。



ヘッドホンはミニピンプラグ付きヘッドホンを、電器店などでお求めください。

1. 市販のヘッドホンのプラグを、本機のヘッドホン端子(🎧)に接続します。



光デジタル対応の機器と接続する

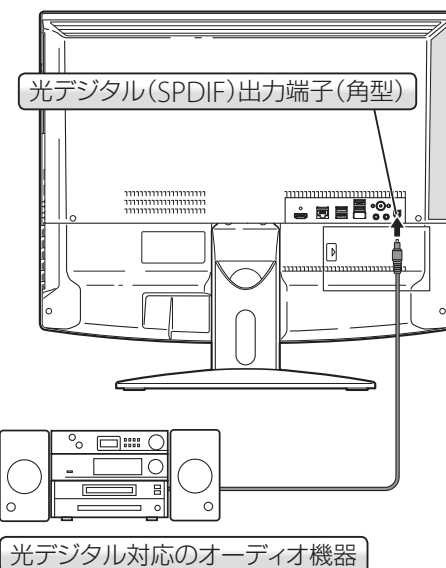
光デジタル入力端子を装備しているオーディオ機器を、本機的光デジタル (SPDIF) 出力端子 (角型) に接続すると、クリアなサウンドが楽しめます。



本機的光デジタル出力サンプリングレートは48KHzに固定されています。音声を録音するときは、サンプリングレート48KHz対応の光デジタル対応の機器を使用してください。



- ・光デジタルケーブルは、電器店などでお求めください。
- ・光デジタル対応のオーディオ機器にはMDレコーダーのほかにスピーカーやオーディオコンボなどがあります。
- ・本機側に接続する光デジタルケーブルのプラグは、角型をご使用ください。



USB対応機器の使用

USBポートには、さまざまなUSB機器を接続して利用することができます。ここでは、本機の電源をONにした状態で、USB対応の周辺機器を接続する方法について説明します。

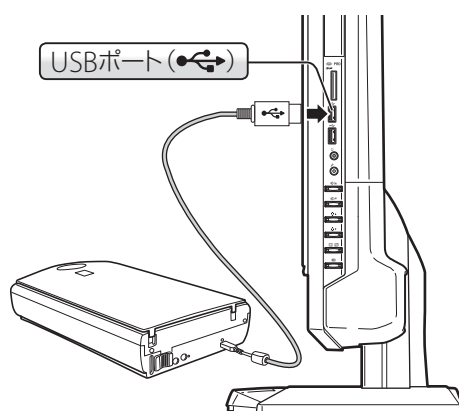
接続時の注意事項

- ・ 接続前に、デバイスドライバーのインストールが必要なUSB機器があります。
- ・ ケーブルには差し込む向きがあります。無理に差し込もうとしないで、方向を確認して正しく差し込んでください。
- ・ 本機には、複数のUSBポートを用意しています。どのUSBポートを使用しても問題ありません。
- ・ USBポートの数が足りないときは、市販のUSBハブを接続して、USBポートの数を増やすことができます。

1. 本機のUSBポート()に、USB機器のケーブルを差し込みます。

しばらく待つと、デスクトップ画面右下のタスクバーに、「デバイスを使用する準備ができました」と吹き出しが表示されます。これで、USB機器が使えるようになります。

接続したUSB機器によっては、このあと、ソフトウェアのインストールなどの作業が必要になります。



- ・ 表示されないときは、USBポートからコネクタを一度抜き、3秒以上時間をおいてから、再度差し込んでみてください。
- ・ USB機器に、Windows 7対応のデバイスドライバーが付属されていない場合、USB機器をWindows 7で使うための専用デバイスドライバーが別途必要になります。
- ・ 次回からはUSBポートに接続するだけで、すぐに使用できます。
- ・ 異なるUSBポートにUSB機器を接続すると、【新しいハードウェアの検索ウィザード】が表示される場合があります。その場合は、設定を再度おこなってください。
- ・ 本体前面のUSBポートは、本機の電源がOFFのとき、電源が給電されません。



iPodを使う

本機前面のUSBポートに、付属のiPodクレイドルを取り付けて、iPodを使うことができます。

iPodを使用する前に

- ・ iPodを抜き差しするときは、コネクタに負担をかけないようにまっすぐにコネクタの傾きに合わせ、ていねいにおこなってください。
- ・ iPodクレイドルと接続した状態でiPodの操作部を強く押したり、iPodを前後に倒したりしないようにしてください。コネクタ部の接触不良や破損の原因となります。
- ・ FMトランスミッターやマイクロフォンなど他のアクセサリとは併用しないでください。動作不良などの原因となります。
- ・ iPodをケースなどに入れている場合、完全にコネクタと接続できないことがあります。iPodは、ケースを外してから本機に接続してください。

使用できるiPodの種類

本機で使用できるiPodの種類は、次のとおりです。

- ・ 第5世代iPod (iPod with video)
- ・ iPod photo (カラーディスプレイ搭載iPod)
- ・ 第4世代iPod
- ・ 第2世代iPod nano
- ・ 第1世代iPod nano
- ・ iPod mini



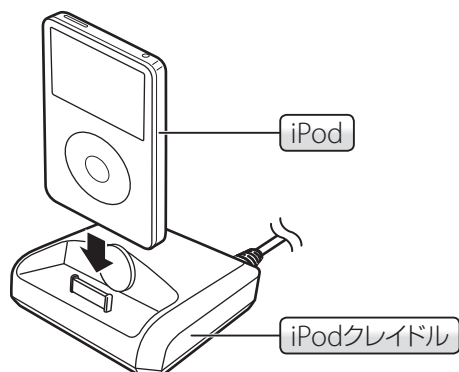
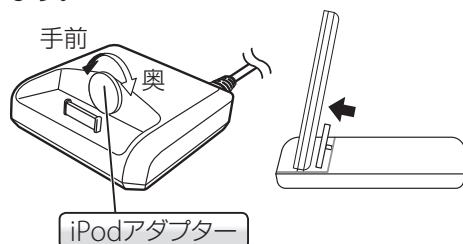
- ・ 第3世代iPodには対応していません。
- ・ ご使用の前に、必ずiPodのソフトウェアを最新バージョンにアップデートしてください。最新バージョンにするためのソフトウェアアップデーターは、Apple社のホームページにて入手してください。
- ・ 本書に記載の操作は、2009年9月現在のiPodを基準にしています。今後のiPodのファームウェアのバージョンアップなどにより、操作できる機能の範囲が変更になる場合もあります。

iPodを接続する

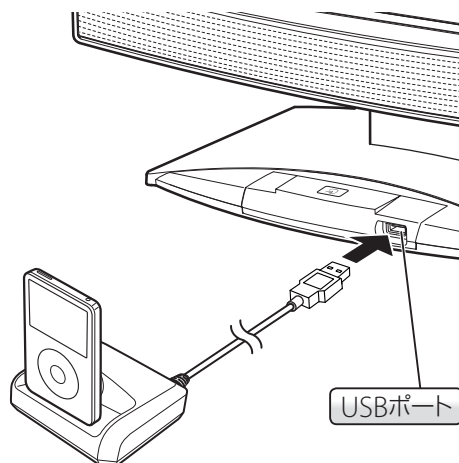
1. iPodクレイドルに、iPodを接続します。



iPodによっては、iPod背面とiPodクレイドルのあいだにすき間ができますので、iPodアダプターを回して調節し、すき間をなくしてください。左に回すとiPodアダプターを手前に、右にまわすと奥に調整できます。



2. iPodクレイドルを、本機前面のUSBポートに接続します。



FeliCaポートを使う

本機前面には、FeliCaに対応した非接触ICカードの読み書きがおこなえる「FeliCaポート」が内蔵されています。

ここでは、FeliCaポートを使う方法について説明します。

FeliCaとは

「FeliCa」とは、非接触ICカードの技術方式のひとつです。携帯電話や、電子マネー、交通機関のプリペイドカードなどで幅広く使われています。

ショッピングで決済するときや、電車・バスに乗車するときは、FeliCa対応カードを読取装置にかざして使います。

本機のFeliCaポートを使うと、インターネットショッピングでの決済や、交通機関の利用履歴の確認、FeliCa対応カードへの入金（チャージ）などがおこなえます。

 (FeliCaプラットフォームマーク) は、本機がFeliCaを利用したマルチアプリケーションプラットフォームに対応していることをあらわしています。



無線機器の使用が禁止されている区域では、FeliCaポートを使用しないでください。



ここでは、FeliCa対応カードを例に操作方法を説明します。FeliCa対応携帯電話をご利用の場合は、「FeliCa対応カード」を「FeliCa対応携帯電話」に読み替えてください。

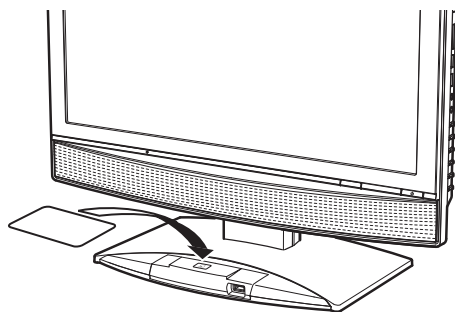
FeliCaポートを使う

FeliCaポートを使う方法を説明します。

1. FeliCaポートのマークの上に、FeliCa対応カードの中心を合わせるようにして置きます。



「かざしてナビ」が起動します。

各種FeliCa対応アプリケーションはポータルメニューに登録されています。ガイドメニューからアプリケーションのアイコンをクリックするだけで、各アプリケーションを起動させることができます。



- ・ FeliCa対応カードがFeliCaポートからはみ出している場合は、正常に読み取れないことがあります。
- ・ 一度に読み取れるFeliCa対応カードは、1枚のみです。同時に複数枚のカードを置かないでください。正常に読み取ることができません。



- ・ FeliCa対応カードは、表面・裏面のどちらでも読み取れます。
- ・ FeliCa対応携帯電話の場合は、マークが表示されている面を下にして、携帯電話とFeliCaポートのを合わせるようにして置いてください。
- ・ FeliCa対応カードおよびFeliCa対応携帯電話は、横置きのみ対応しています。縦置きには対応しておりません。

メモリーカードの使用



本機にはメモリーカードを読み書きするスロットがあります。

使用できるメモリーカード

本機で使用するメモリーカードの種類と機能は、次のとおりです。メモリーカードを使用すると、画像ファイルなどのファイルデータの読み出し・書き込みができます。

使用できるメモリーカード	著作権保護機能	誤消去防止スイッチ
SDメモリーカード	あり	あり
SDHCメモリーカード	あり	あり
MMC	なし	なし
メモリースティック	あり	あり
メモリースティックPRO	あり	あり

(本書作成時点の情報です)

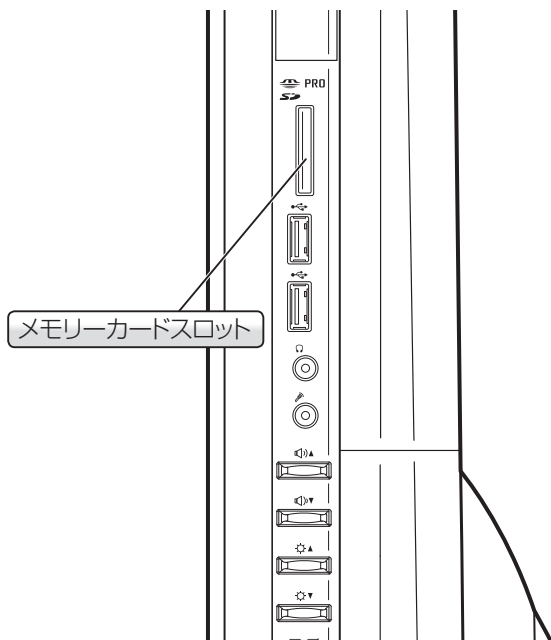


マジックゲートメモリースティックに著作権保護(暗号化)を施して記録された音声ファイルは、本機のメモリーカードスロットでは再生できません。

メモリーカードの差し込み方向

各種メモリーカードの差し込み方向は、次のとおりです。

各種メモリーカードのラベルの向きや切り欠きの位置を確認して、正しく差し込んでください。



ラベルの向きと差し込み方向



メモリースティック/
メモリースティックPRO



SDメモリーカード/
SDHCメモリーカード/MMC

メモリーカードの差し込み

メモリーカードを差し込み、使用するまでの手順を説明します。



ここでは、メモリーカードに「MEMORY CARD」という名前（ボリュームラベル）が付いていることを前提に、手順を説明します。

1. 差し込む向きを確認して、本機のメモリーカードスロットにメモリーカードを確実に差し込みます。

しばらくするとメモリーカードが本機に認識され、ダイアログが表示されます。



- ・メモリーカードには、それぞれ差し込む向きがあります。方向を確認して、正しく差し込んでください。
- ・「miniSDカード」または「メモリースティックデュオ」など、表に記載のない種類のカードは、本機で使用できません。メモリーカードを本機に挿入する前に、種類を確認してください。

2. 実行させたい動作をクリックします。



表示されるダイアログは、メモリーカードに入っているファイルによって異なります。

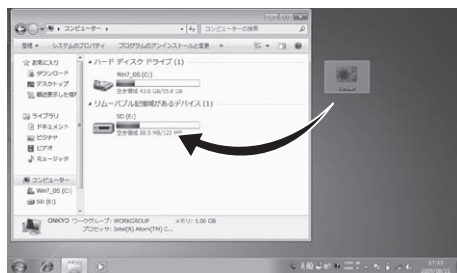


これらの動作を実行させたくない場合は、ダイアログを閉じます。



■ ファイルをコピーする

正しく認識されたメモリーカードのアイコンに、ほかのディスクからファイルをドラッグアンドドロップすると、メモリーカードにデータをコピーできます。



■ 誤消去防止スイッチについて

SDメモリーカードの側面、およびメモリースティックの背面には、誤消去防止スイッチがあります。スイッチを「LOCK」に合わせると、データを誤って消去することを防止できます。

メモリーカードの取り出し

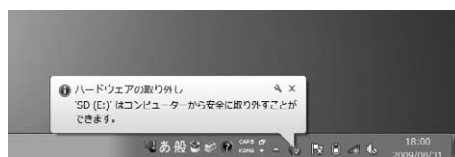
メモリーカードの取り外しの手順は次のとおりです。

1. メモリーカードの動作が終了していること(データの読み書きがおこなわれていない状態)を確認し、[スタート] ボタン→[コンピューター]を開き、メモリーカードドライブを右クリックして表示されるメニューから、[取り出し]を選択します。

メモリーカードドライブのアイコンが消えます。



2. メモリーカードドライブのアイコンが消え、「コンピューターから安全に取り外すことができます。」というポップアップメッセージが表示されたことを確認した後、メモリーカードを取り出します。



注意

各種メモリーカードをWindows上で使用している間は、メモリーカードを取り出さないでください。メモリスロットの故障や、データが破損する恐れがあります。

おかしいなと思ったら



本機のご使用中にトラブルが発生したり、疑問に感じたことがあれば、あわてずに次の項目をチェックしながら対処してください。

まずはじめに

あわてて対処しないでください

トラブルが発生したと思ったら、パソコンをそのままの状態ですぐに電源を切ったり、むやみにタッチパッドのボタンを押したり、キーボードのキーをたたいたりしないでください。

1 本書で該当する項目を探しましょう

🔍 「困ったときのチェックリスト」(46ページ)

本書に該当する項目があれば、本書の指示に従って解決してください。

2 オンライン情報から該当する項目を探しましょう

🔍 「パソコンで調べる」(44～45ページ)

本書以外にも、弊社Webサイト「オンラインサポート」や、Microsoft社のWebサイト「マイクロソフト サポート オンライン」に、トラブル解決のためのQ&Aが掲載されています。Windows 7およびアプリケーションソフトのヘルプも活用してください。

3 パソコンを購入時の状態に戻しましょう

🔍 「リカバリーの準備」(52～68ページ)、「リカバリーの方法」(ユーザーズガイド¹)

本機をご購入時の状態に戻します。(この作業をリカバリーといいます)

リカバリーの前に、必要なデータや設定情報のバックアップを取ってください。

4 オンキヨー/ソーテックカスタマーサポートセンターに連絡しましょう

以上の方法でどうしても解決できないときは、オンキヨー/ソーテックカスタマーサポートセンターに連絡してください。

お電話の前に、「ケア・シート」などをよくお読みになり、注意事項などを確認してください。

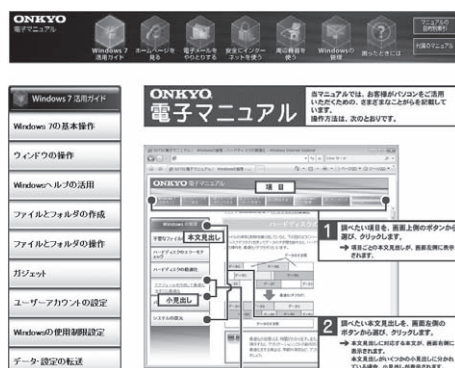
パソコンで調べる

本書以外にも、次のWebサイトおよびヘルプをご参照ください。トラブル解決のための情報が提供されています。

■ ONKYO電子マニュアル

(デスクトップ画面上の[ONKYO電子マニュアル]アイコンをダブルクリック)

本機のマルチメディア機能の活用方法、およびWindows 7やインターネットの便利な使いかたを図解付きで説明しています。トラブルの解決方法および予防方法も説明しています。



■ ONKYO問合せ窓口一覧

ONKYOへの問い合わせ先、および各種アプリケーションソフトの問合せ先を掲載しています。



■ マイクロソフト サポート オンライン (<http://support.microsoft.com/>)

Windows固有の技術情報を中心に掲載されています。Windowsの不具合の修正プログラムも、このWebサイトからダウンロードできます。



■ オンラインサポート (<http://support.sotec.jp/>)

弊社製品の仕様の公開や、オンキヨー/ノーテックカスタマーサポートセンターに寄せられる質問などを掲載しています。各製品のドライバーおよびプログラムも、このページからダウンロードできます。



■ ヘルプとサポート

([スタート] ボタン→[ヘルプとサポート])

Windowsおよび本機に関して、知っておくと有用な情報を掲載しています。Windowsのトラブルシューティングおよびチュートリアルも利用できます。



困ったときのチェックリスト



トラブルが発生した、または発生したと思われた場合、次のチェックリストでパソコンの症状をチェックしてください。

1 パソコンの電源はONになりますか？

- ONになりません (P.47ページ)



ONになります

2 Windowsは起動しますか？

- セーフモードで起動します (P.48ページ)
- 起動しません (P.47ページ)



正常に起動します

3 Windowsの画面は表示されますか？

- 表示されますが、正常ではありません (P.47～49ページ)
- セーフモードで表示されます (P.48ページ)



正常に表示されます

4 タッチパッド・マウス・キーボードは正常ですか？

- 正常ではありません (P.50～51ページ)



正常に動作します

ONKYO電子マニュアルを起動して、その他の原因を確認してください。



本機の使用中に遭遇する、よくある質問や問題をまとめました。オンキヨー/ソーテックカスタマーサポートセンターへお問い合わせいただく前に、確認してください。

パソコンを起動する前に

Q.1 海外のコンセントに接続して使用できるか

- A ・ 電源が交流100Vであれば使用できます(プラグの形状が異なる場合、変換プラグが必要)。
ただし、日本国外で本機を使用される場合は、サポート対象外となります。

パソコンが動かない

Q.2 電源スイッチを押しても動かない

- A ・ 電源ケーブルが抜けている可能性があります。
電源ケーブルを差し込んでください。
- ・ 本機が故障している可能性があります。
オンキヨー/ソーテックカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

Q.3 画面に何も表示されない

- A ・ 本機の電源がONになっていない可能性があります。
本機の電源LEDを確認し、消えている場合は本機の電源スイッチをONにしてください。
- ・ 起動およびスリープ/休止状態からの復帰に時間がかかっている可能性もあります。
本機のHDD LEDを確認し、点滅している場合はしばらくお待ちください。
- ・ ディスプレイの表示がOFFになっていませんか。
ディスプレイLEDが点灯しているときは、ディスプレイの表示がOFFになっています。
ディスプレイのON/OFF切替ボタンを押してください。

Q.4 パソコンの電源をONにしたところ、黒い画面に英語の文字が表示され、Windowsが起動しない

- A ・ パソコンのシステムが不安定になっている可能性があります。
リカバリーを試してください。
ただし、リカバリーを実行すると、Windowsが工場出荷時の初期状態に戻り、お客様がハードディスクドライブに保存されたデータはすべて消去されてしまいます。
リカバリー方法は、ユーザーズガイド **1** をご参照ください。
一部のアプリケーションについては、個別にインストールしていただく必要があります。
- ・ これで回復できない場合は、ケーブルとハードディスクドライブの物理的な接触不良の可能性もありますので、オンキヨー/ソーテックカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

Q.5

.....
 パソコンを起動したところ、「セーフモード」という文字が画面に表示され、通常よりも低い解像度で起動している

A ・ この状態は誤動作ではなく、「セーフモード」というWindowsを正常な状態に戻すための診断モードです。

セーフモードで起動した場合、ドライバーや周辺機器との接続に問題があるか、何かの設定が壊れているかなどの原因が考えられます。セーフモードは、不具合の原因がどこにあるかを調べて、それを解消するための診断モードです。不具合がどこにあるかを調べるための最低限の操作のみをおこなうよう設定されています。

問題解決後（自動修復含む）、再起動すると通常どおりWindowsが起動します。

Q.6

.....
 周辺機器を取り付けたらWindowsが起動しない

A ・ 周辺機器のデバイスドライバーが原因で、Windowsが起動できなくなった可能性があります。

「セーフモード」でWindowsを起動して、トラブルの原因と思われるデバイスドライバーを無効にしてください。この方法でWindowsが正常に起動した場合、正しいデバイスドライバーをインストールするか、デバイスドライバー自体を削除する必要があります。

「セーフモード」でデバイスを無効にするには、次の操作に従って設定してください。

- ①本機の電源をONにして、「ONKYO」ロゴが表示されている間に[F8]キーを押します。
- ②[詳細ブートオプション]が表示されるので、「セーフモード」をキーボードで選択してください。
- ③ユーザー名を選択してください。セーフモードでWindowsが起動します。
- ④[スタート] ボタン→[コントロールパネル] →[システムとセキュリティ] を選択して、システム欄の[デバイスマネージャー] をクリックします。
- ⑤【デバイスマネージャー】ダイアログを表示させ、追加した周辺機器の項目をダブルクリックして表示される【プロパティ】ダイアログで[ドライバー]タブをクリックしてください。
- ⑥[無効] ボタンをクリックし、[はい] をクリックしてから、[OK] ボタンをクリックしてください。

Windowsを再起動すると、通常モードでWindowsが起動します。

- ・ この方法でもWindowsが起動しない場合、本機の電源をOFFにしてから、新しく取り付けた周辺機器を外してください。

Q.7

.....
 終了できない

A ・ 電源スイッチを4秒以上押すことにより電源を切ることが可能です。

その際、必ず各種ステータスLEDがついてないことをご確認ください。上記の方法で電源が切れない場合は、電源ケーブルを抜いてください。

パソコンを使っていたら

■ 画面上のトラブル

Q.8

表示される日付や時刻が正しくない

A ・日付や時刻が間違った設定になっている可能性があります。

通知領域の時刻をクリックして「カレンダー」を起動し、「日付と時刻の設定の変更」をクリックします。

表示された【日付と時刻】ダイアログで正しい日付や時刻を設定します。

・本機に内蔵されている電池が切れている可能性があります。

マザーボードに取り付けられているリチウム電池の寿命は、平均2～3年です。本機の使用期間が2～3年経過していたら、リチウム電池の交換を試してください。



Q.9

日付の設定を変更しても元に戻ってしまう

A ・電池が容量切れになっている可能性があります。

日付設定などのバックアップ電源として内蔵電池を使用しています。この内蔵電池が容量不足になると、日付設定などのデータ保持ができなくなります。

電池は消耗品ですので、寿命があります。寿命についてはお客様のご使用状況により大きく異なりますが、平均2～3年です。本機の使用期間が2～3年経過していたら、リチウム電池の交換を試してください。

■ ディスプレイのトラブル

Q.10

いきなり画面が消えた

A ・ディスプレイの電源が切れた可能性があります。

本機をしばらく操作せずにいると、画面表示が消える設定になっております。マウスやキーボードを動かしてください。

・スリープまたは休止状態に入った可能性があります。

画面表示が消えた後、さらに時間が経過すると、スリープモードになります。電源LEDが点滅している場合は、電源スイッチを押してください。

・電源ケーブルが電源コンセントから外れている可能性があります。

電源ケーブルを正しく接続してください。

Q.11 画面表示にムラがある

- A ・ ディスプレイを見やすい角度に調整してください。
液晶ディスプレイは、周囲の温度などの影響によって表示が変わる特性があります。
ムラがあるのは故障ではありません。

■ マウス、キーボード、タッチパッドのトラブル

Q.12 マウス・キーボードが正しく動作しない

- A ・ マウス(キーボード)が本機に認識されていない可能性があります。
本機の「コネクト」ボタン、マウス(キーボード)のCONNECTボタンを押して、マウス(キーボード)を本機に認識させてください。
- ・ 電池が正しく入っていない可能性があります。
マウス(キーボード)底面の電池カバーを開けて、電池を正しく入れなおしてください。
 - ・ 電池の寿命が切れている可能性があります。
電池を新しいものに交換してください。
 - ・ お使いの環境によっては、正しく動作しない場合があります。
スチールデスクなど金属製のものの上で使用している場合や、周囲に電気・電子機器または他の無線機器が設置されている場合は、周囲の電波の影響を受けて正しく動作しないことがありますので、なるべく避けてください。
 - ・ キーボード底面の電源スイッチが「OFF」になっている可能性があります。
キーボード底面の電源スイッチを「ON」にしてください。
 - ・ 適正なドライバーを使用していない可能性があります。
付属のマウス・キーボード以外を使用する場合は、専用のドライバーが必要な場合があります。使用するマウス・キーボードに付属のドライバーを正しくインストールしてください。

Q.13 押したキーと違う文字が表示される

- A ・ **CapsLock**、**ひらがな**／**カタカナ**などが間違って押されている可能性があります。
目的の文字がタイプされるように**CapsLock**、**ひらがな**／**カタカナ**キーを押してください。

Q.14 テンキーが入力できない

- A ・ **NumLock**キーのロックが解除されている可能性があります。
NumLockキーを押してロックさせます。(P.17ページ)

Q.15 キー入力中に突然カーソルが別の場所に移動してしまう

- A ・ タッチパッドの表面付近では、小さな反動でもカーソルが移動してしまうことがあります。
親指がタッチパッドの表面付近にあるときなど、タッチパッドの表面のタッピング機能が反応することがあります。

Q.16

.....
タッチパッドを使用したとき、マウスカーソルの動きが悪いことがある

- A ・タッチパッドの表面が埃や汗などによって汚れていると、このような現象が発生することがあります。
清潔な布などで、タッチパッドの表面の汚れをふき取ってからご使用ください。

リカバリーの準備



使用していたデータや設定内容をバックアップして、リカバリー後に同じ環境で使えるようにします。

リカバリーとは

リカバリーとは、ハードディスクの内容を一度消去し、工場出荷時の状態に戻すことです。Windowsのシステムが手作業では修復できない状態になったときや、システムの不具合の原因が特定できない場合などのときに、リカバリーをおこないます。

リカバリーをおこなう前に、ハードディスクのデータを外部メディア（USBメモリ、CD-R/RW、DVD-R/RW、外付けHDDなど）に保存してください。リカバリー後に保存したデータを戻すと、リカバリー前と同じ状態で本機を使うことができます。



本書では、リカバリーの実行前に、個人で作成したデータをバックアップする方法と、リカバリー後にバックアップしたデータを復元する方法を説明します。リカバリーの実行方法については、ユーザーズガイド¹をご参照ください。

データのバックアップ



リカバリーの実行



データの復元

データのバックアップ

ここでは、Internet Explorerや電子メールの設定などのデータを、外部メディアにバックアップする方法を説明しています。

お客様がデスクトップや「ドキュメント」フォルダーに保存したデータについては、あらかじめ外部メディアに保存しておいてください。



電子メールのデータのバックアップについては、「Windows Liveメール」での方法を説明しています。その他のメーラーをご使用の場合、バックアップ方法はメーラーの取扱説明書などをご参照ください。

『お気に入り』のバックアップ

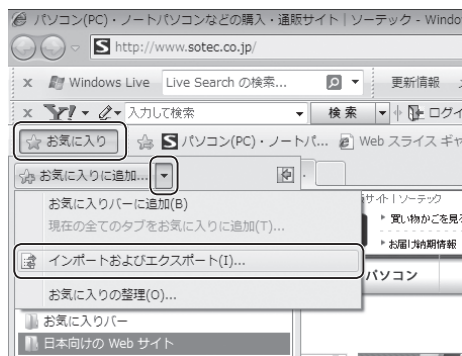
Internet Explorerの『お気に入り』のバックアップを作成します。

1. Internet Explorerが起動した状態で、

☆お気に入り ボタンをクリックし、☆お気に入りに追加...

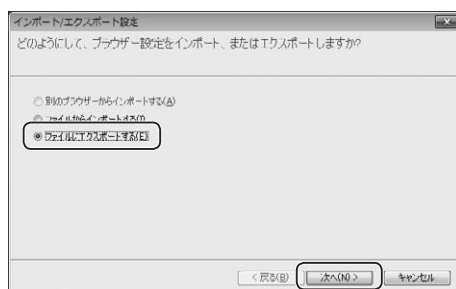
の をクリックして表示されるメニューから【インポートおよびエクスポート】を選択します。

【インポート/エクスポート設定】ダイアログが表示されます。



2. 【ファイルにエクスポートする】を選択して、【次へ】ボタンをクリックします。

【何をエクスポートしますか？】ダイアログが表示されます。



3. 【お気に入り】をチェックして、【次へ】ボタンをクリックします。

【お気に入りのエクスポート元フォルダーを選択】ダイアログが表示されます。



「フィード」「Cookie」をチェックすると、フィードとCookieをエクスポートできます。



4. 「お気に入り」フォルダーを選択して、【次へ】ボタンをクリックします。

【どこにお気に入りをエクスポートしますか？】ダイアログが表示されます。



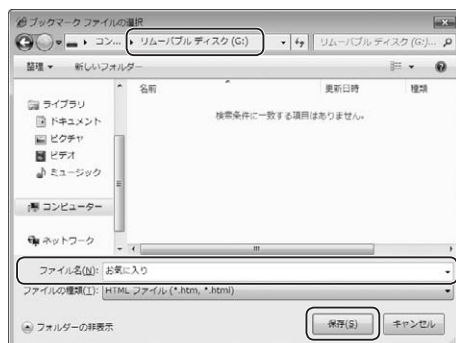
5. 【参照】ボタンをクリックします。

【ブックマークファイルの選択】ダイアログが表示されます。



6. 任意のファイル名と外部記憶メディアの保存場所を設定して、【保存】ボタンをクリックします。

【どこにお気に入りをエクスポートしますか？】ダイアログに戻ります。



7. [エクスポート] ボタンをクリックします。

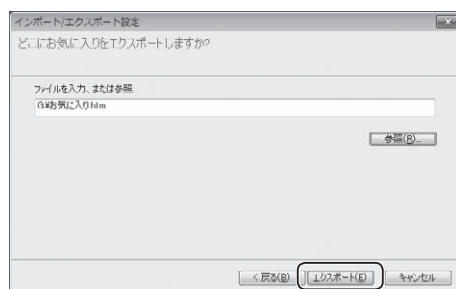


手順3で「フィード」および「Cookie」をチェックした場合、[次へ] ボタンをクリックしてください。
表示される画面の設定方法は、手順5～6と同じです。

終了すると、【これらの設定を正しくエクスポートしました】ダイアログが表示されます。

8. [完了] ボタンをクリックします。

以上で『お気に入り』のバックアップは完了です。



■ メールアカウントのバックアップ

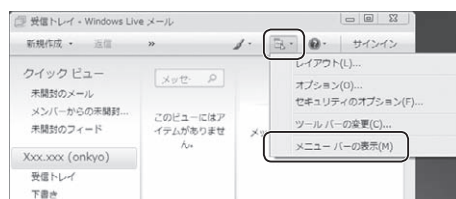
Windows Liveメールで設定している、メールアカウントのバックアップを作成します。



複数のユーザーでWindows 7を使用している場合は、ユーザーのアカウントごとにバックアップを作成してください。

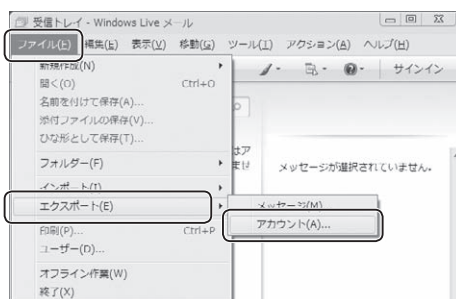
1. Windows Liveメールが起動した状態で、[メニュー] → [メニューバーの表示] を選択します。

メニューバーが表示されます。

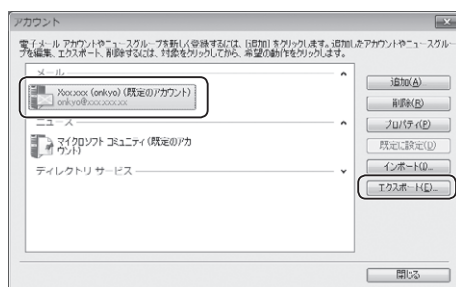


2. [ファイル] → [エクスポート] → [アカウント] を選択します。

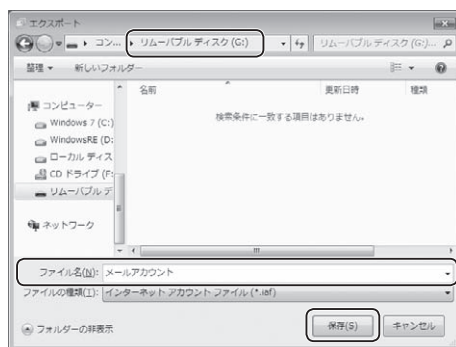
【アカウント】ダイアログが表示されます。



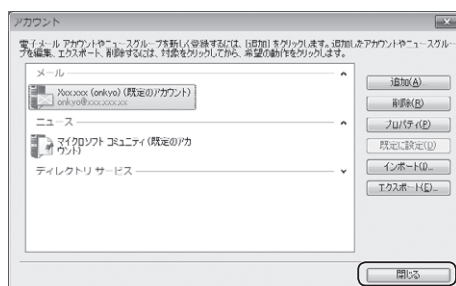
3. 「メール」欄のアカウントを選択し、[エクスポート] ボタンをクリックします。
【エクスポート】ダイアログが表示されます。



4. 任意のファイル名と外部記憶メディアの保存場所を設定して、[保存] ボタンをクリックします。
【アカウント】ダイアログに戻ります。



5. [閉じる] ボタンをクリックします。
以上でメールアカウントのバックアップは完了です。

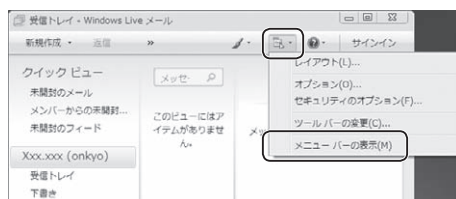


■ メッセージのバックアップ

Windows Liveメールで送受信した、メッセージのバックアップを作成します。

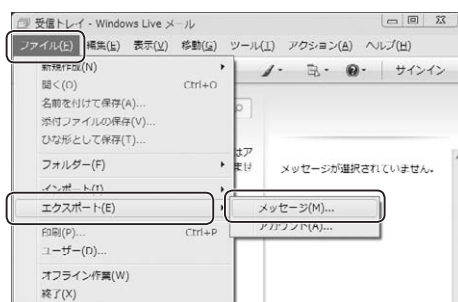
- ✓ 複数のユーザーでWindows 7を使用している場合は、ユーザーのアカウントごとにバックアップを作成してください。

1. Windows Liveメールが起動した状態で、[メニュー] → [メニューバーの表示] を選択します。
メニューバーが表示されます。



2. [ファイル] → [エクスポート] → [メッセージ] を選択します。

【プログラムの選択】ダイアログが表示されます。



3. 一覧から [Microsoft Windows Liveメール] を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。

【メッセージの場所】ダイアログが表示されます。



4. [参照] ボタンをクリックします。

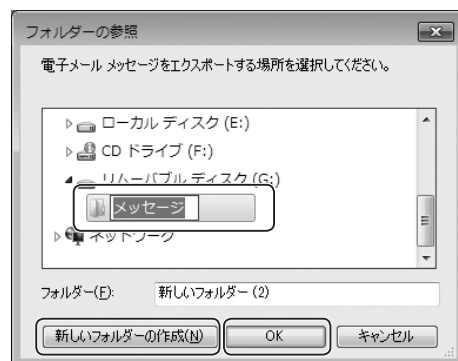
【電子メール メッセージをエクスポートする場所を選択してください。】ダイアログが表示されます。



5. 外部記憶メディアを選択し、[新しいフォルダーの作成] ボタンをクリックして、任意の名前でフォルダーを作成します。

6. 作成したフォルダーを選択して、[OK] ボタンをクリックします。

【メッセージの場所】ダイアログに戻ります。



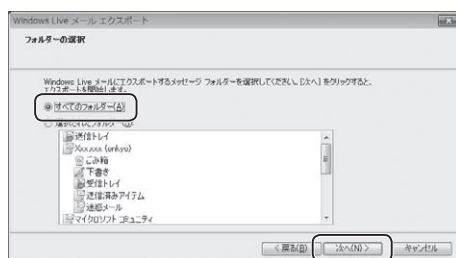
7. [次へ] ボタンをクリックします。

【フォルダーの選択】ダイアログが表示されます。



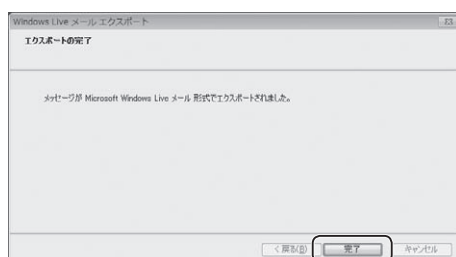
8. [すべてのフォルダー] を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。

メッセージのエクスポートが開始されます。
終了すると【エクスポートの完了】ダイアログが表示されます。



9. [完了] ボタンをクリックします。

以上でメッセージのバックアップ作成は完了です。



■ アドレス帳のバックアップ

Windows Liveメールで登録した、アドレス帳のバックアップを作成します。



複数のユーザーでWindows 7を使用している場合は、ユーザーのアカウントごとにバックアップを作成してください。

1. アドレス帳が起動した状態で、[メニュー] → [エクスポート] → [カンマ区切り] を選択します。 【CSVのエクスポート】ダイアログが表示されます。



2. [参照] ボタンをクリックします。 【名前を付けて保存】ダイアログが表示されます。



3. 任意のファイル名と外部記憶メディアの保存場所を設定して、[保存] ボタンをクリックします。
【CSVのエクスポート】ダイアログに戻ります。



4. [次へ] ボタンをクリックします。
【エクスポートするフィールドを選択してください】ダイアログが表示されます。



5. エクスポートするフィールド (項目) にチェックをいれて、[完了] ボタンをクリックします。
アドレス帳のエクスポートが開始されます。



エクスポートするフィールドを任意で選択することができます。
通常は、設定を変更する必要はありませんので、そのまま [完了] ボタンをクリックしてください。



■ ユーザー辞書のバックアップ

現在使用しているユーザー辞書は、次の手順でバックアップを作成します。

1. [スタート] ボタン→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[ファイル名を指定して実行] の順に選択します。
【ファイル名を指定して実行】ダイアログが表示されます。



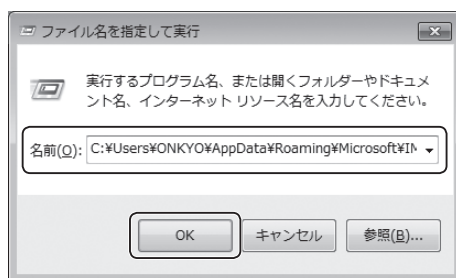
2. [名前] 欄に [C : ¥Users¥*****¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥IMJP10] と入力して、[OK] ボタンをクリックします。

(*****には、現在ログイン中のユーザー名が入ります。 例 : 「ONKYO」など)

[IMJP10] ウィンドウが表示されます。



- ・ユーザー辞書の保存先をほかの任意のフォルダーへ変更している場合は、変更先のフォルダーを開きます。
- ・ユーザー辞書の保存先は下記の方法で確認することができます。
言語バーのボタンをクリックして、表示されるメニューから[プロパティ]を選択します。
[辞書/学習] タブをクリックし、画面中段の [辞書名] に表示されているのが、ユーザー辞書の保存先です。

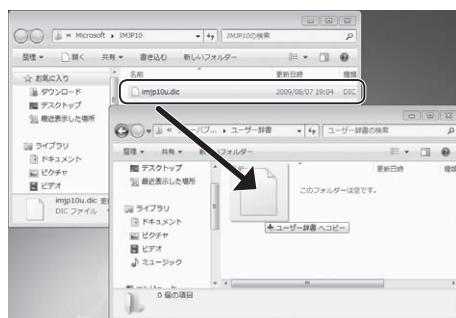


3. [imjp10u] ファイルを、異なる任意のファイル名で外部記憶メディアに保存します。



ファイル名は必ず変更してください。

以上でユーザー辞書のバックアップ作成は完了です。



以上のバックアップが終了すれば、リカバリーをおこなってください。リカバリーの方法は、ユーザーズガイド **1** をご参照ください。

データの復元

ここでは、リカバリー(ユーザーズガイド**1**)をおこなった後に、アプリケーションソフトや、「データのバックアップ」(52～59ページ)で保存した各データを復元する方法を説明しています。

■ アプリケーションソフトの設定

リカバリーをおこなうと、すべてのアプリケーションソフトは自動的に復元されます。必要に応じ、アプリケーションソフトを再インストールしてください。

本製品に付属のアプリケーションソフトは、「ONKYO問合せ窓口一覧」の「※再セットアップについて」からインストールします。

1. デスクトップにある、「ONKYO問合せ窓口一覧」アイコンをダブルクリックします。

【ONKYO問合せ窓口一覧】が起動します。



2. 左側の【※再セットアップについて】をクリックします。

3. 表示される一覧から、復元するアプリケーションソフトの横にある●をクリックします。

4. 画面の指示にしたがってインストールをおこないます。



本製品購入後にインストールしたアプリケーションソフトは、別途インストールしてください。



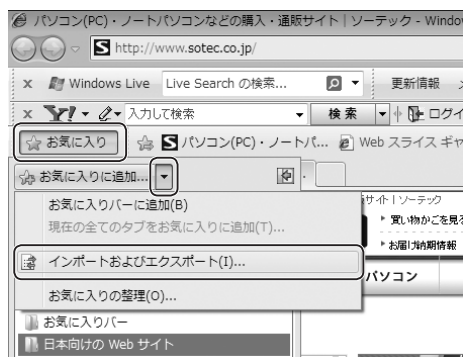
■ バックアップしたファイルを復元する

あらかじめ外部メディアに保存しておいた、デスクトップや「ドキュメント」フォルダーにあったデータを、バックアップ前と同じ場所に戻してください。

■ 『お気に入り』を元に戻す

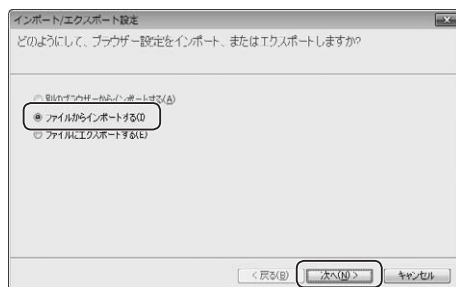
Internet Explorerの『お気に入り』を復元します。

1. Internet Explorerが起動した状態で、 ☆ お気に入り ボタンをクリックし、☆ お気に入りに追加... の をクリックして表示されるメニューから【インポートおよびエクスポート】を選択します。 【インポート/エクスポート設定】ダイアログが表示されます。



2. 【ファイルからインポートする】を選択して、【次へ】ボタンをクリックします。

【何をインポートしますか？】ダイアログが表示されます。



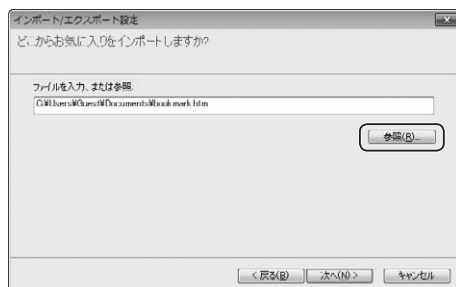
3. 【お気に入り】をチェックして、【次へ】ボタンをクリックします。

【どこからお気に入りをインポートしますか？】ダイアログが表示されます。

 「フィード」「Cookie」をチェックすると、フィードとCookieをインポートできます。

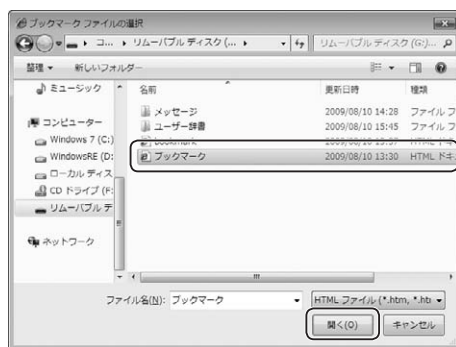


4. 【参照】ボタンをクリックします。 【ブックマークファイルの選択】ダイアログが表示されます。



5. バックアップをとったお気に入りファイルを選択して、【開く】ボタンをクリックします。

【どこからお気に入りをインポートしますか？】ダイアログに戻ります。



6. [次へ] ボタンをクリックします。

【お気に入りのインポート先フォルダーを選択】ダイアログが表示されます。



手順3で「フィード」および「Cookie」をチェックした場合、[次へ] ボタンをクリックしてください。

表示される画面の設定方法は、手順4～6と同じです。



7. 「お気に入り」フォルダーを選択して、[インポート] ボタンをクリックします。

終了すると、【これらの設定を正しくインポートしました】ダイアログが表示されます。



8. [完了] ボタンをクリックします。

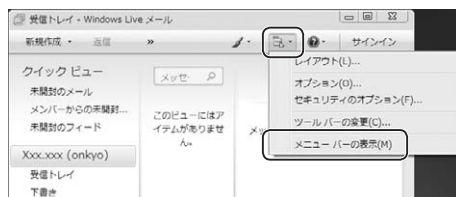
以上で『お気に入り』の復元は完了です。



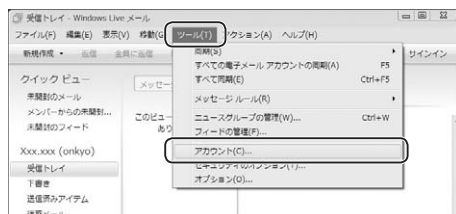
■メールアカウントの復元

Windows Liveメールで設定している、メールアカウントを復元します。

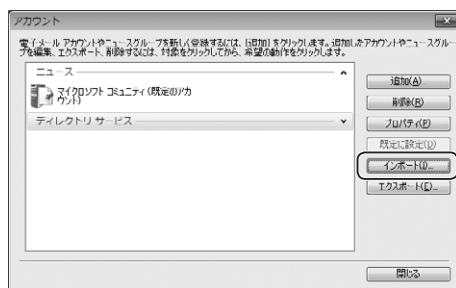
1. Windows Liveメールが起動した状態で、[メニュー]→[メニューバーの表示]を選択します。
メニューバーが表示されます。



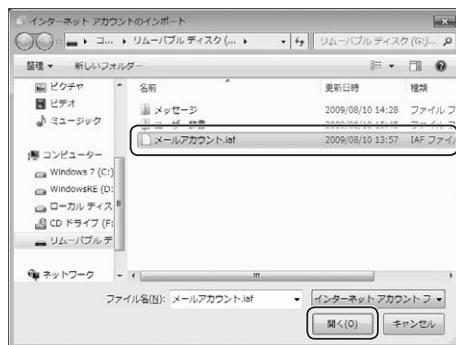
2. [ツール]→[アカウント]を選択します。
【アカウント】ダイアログが表示されます。



3. [インポート] ボタンをクリックします。
【インターネットアカウントのインポート】ダイアログが表示されます。

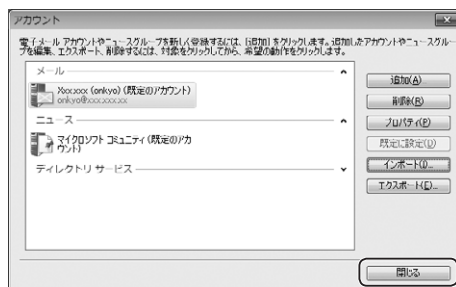


4. バックアップをとったアカウントを選択して、
[開く] ボタンをクリックします。
【アカウント】ダイアログに戻ります。



5. [閉じる] ボタンをクリックします。

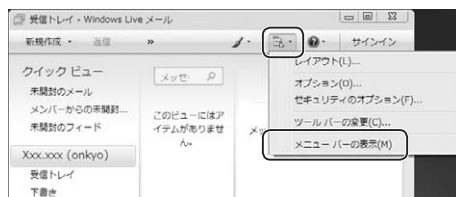
以上でメールアカウントの復元は完了です。



■ メッセージの復元

Windows Liveメールで送受信した、メッセージを復元します。

1. Windows Liveメールが起動した状態で、[メニュー]→[メニューバーの表示]を選択します。
メニューバーが表示されます。



2. [ファイル]→[インポート]→[メッセージ]を選択します。
【プログラムの選択】ダイアログが表示されます。



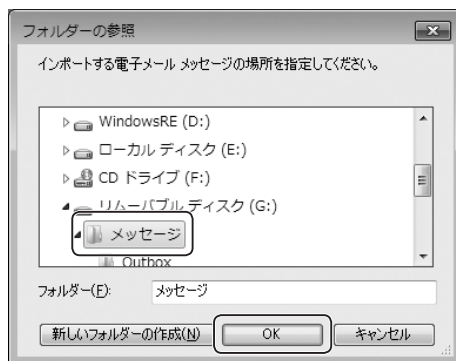
3. 一覧から[Microsoft Windows Liveメール]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。
【メッセージの場所】ダイアログが表示されます。



4. [参照]ボタンをクリックします。
【インポートする電子メール メッセージの場所を指定してください。】ダイアログが表示されます。



5. バックアップをとったメッセージを選択して、[OK]ボタンをクリックします。
【メッセージの場所】ダイアログに戻ります。



6. [次へ] ボタンをクリックします。
【フォルダーの選択】ダイアログが表示されます。



7. [すべてのフォルダー] を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。
メッセージのインポートが開始されます。
終了すると【インポートの完了】ダイアログが表示されます。



8. [完了] ボタンをクリックします。
以上でメッセージの復元は完了です。



■ アドレス帳の復元

Windows Liveメールで登録した、アドレス帳を復元します。

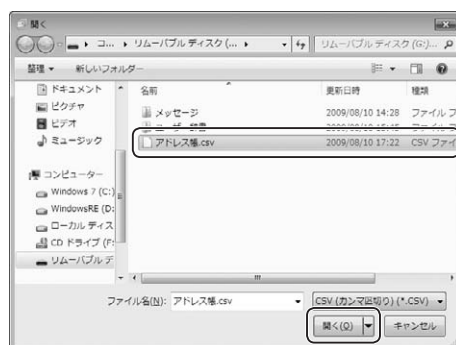
1. アドレスが起動した状態で、[メニュー] → [インポート] → [カンマ区切り] を選択します。
【CSVのインポート】ダイアログが表示されます。



2. [参照] ボタンをクリックします。
【開く】ダイアログが表示されます。



3. バックアップをとったアドレス帳を選択して、
【開く】ボタンをクリックします。
【CSVのインポート】ダイアログに戻ります。



4. 【次へ】ボタンをクリックします。
【インポートするフィールドの割り当て】ダイアログが表示されます。



5. インポートするフィールド（項目）にチェックを
いれて、【完了】ボタンをクリックします。
アドレス帳のインポートが開始されます。



インポートするフィールドを任意で選択することができます。
通常は、設定を変更する必要はありませんので、そのまま【完了】ボタンをクリックしてください。



■ ユーザー辞書の復元

ユーザー辞書を、次の手順で復元します。

1. 【スタート】ボタン→【すべてのプログラム】→【アクセサリ】→【ファイル名を指定して実行】の順に選択します。
【ファイル名を指定して実行】ダイアログが表示されます。



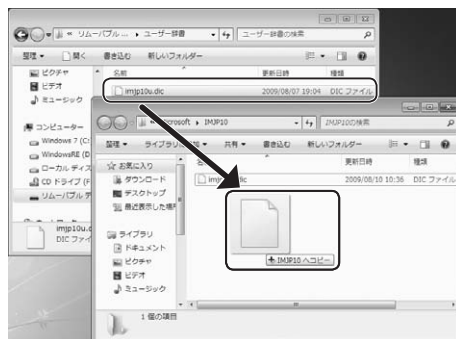
2. [名前] 欄に [C : ¥Users¥*****¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥IMJP10] と入力して、[OK] ボタンをクリックします。


(*****には、現在ログイン中のユーザー名が入ります。 例 : 「ONKYO」など)

【IMJP10】ウィンドウが表示されます。

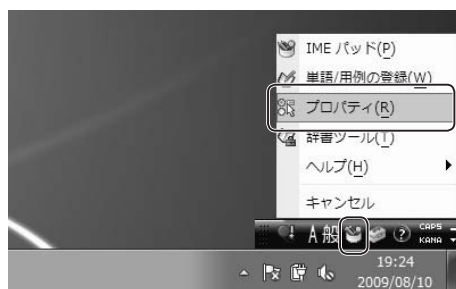


3. バックアップを取ったユーザー辞書ファイルを、【IMJP10】ウィンドウ内に移動します。



4. 言語バーのをクリックして、表示されるメニューから【プロパティ】を選択します。

【Microsoft IME のプロパティ】ダイアログが表示されます。



5. [辞書/学習] タブをクリックします。
6. [ユーザー辞書] 欄の、[参照] ボタンをクリックします。

【ユーザー辞書の設定】ダイアログが表示されます。



7. 手順3で【IMJP10】ウィンドウ内に移動したユーザー辞書ファイルを選択して、[開く] ボタンをクリックします。

【Microsoft IME のプロパティ】ダイアログに戻ります。



8. [OK] ボタンをクリックします。

以上でバックアップの読み込みは完了です



BIOSを設定する

ここではBIOSの概要と、BIOSを設定するための「BIOSセットアッププログラム」の操作方法について説明します。

BIOSとは

"BIOS"とは「Basic Input Output System」の略称で、パソコンを動作させるためのプログラムです。このBIOSの設定を正しくおこなうことで、パソコンの性能を正しく引き出すことができます。本機ではあらかじめ、最適の状態ではBIOSが設定されています。ただし、本機の拡張などをおこなった際には、拡張する機器に合わせてBIOSの設定を変更する必要があります。



BIOSの設定は複雑で、誤った設定をしてしまうと、本機が正常に動かなくなる恐れがあります。特に理由もなくBIOSの設定を変更しないでください。



ハードディスクセキュリティなどの設定については、ONKYO電子マニュアルに付属のBIOSマニュアルを参照してください。

BIOSセットアッププログラムの起動方法

1. 本機の電源がOFFであることを確認したあと、電源をONにします。
2. "ONKYO"のロゴが入った画面が表示されたら、**[Delete]**キーを押します。
しばらくすると、セットアッププログラムの起動画面が表示されます。

※ロゴは、製品によって異なる場合があります。



- ・"ONKYO"ロゴが入った画面の表示中に**[Esc]**キーを押すと、起動デバイスの選択画面が表示されます。
- ・BIOSの詳しい操作方法については、「ONKYO電子マニュアル」から「付属のマニュアル」→「BIOSセットアップマニュアル」を参照してください。



■ 項目の選択・設定の方法

BIOSセットアッププログラムは、次のキーを使って操作します。

- [←][→]**キー ・ メインメニューの項目を左右に移動する
- [↑][↓]**キー ・ 項目を上下に移動する
- [Enter]**キー ・ サブメニューへ移動する
- [F1]**キー ・ ヘルプを見る
- [F10]**キー ・ 変更した設定を保存する
- [Esc]**キー ・ サブメニュー・メインメニューを終了する
- [+/-]**キー ・ 設定値を変更する

索引

あ

アドレス帳のバックアップ	57~58
アドレス帳の復元	65~66
アプリケーションキー	13
アプリケーションソフトの設定	60
アルファベット	16
イジェクトボタン	19
インサートキー	15
インターネットボタン	14
英数キー	16
エスケープキー	15
エンターキー	15
大文字モード	16
お気に入りのバックアップ	52~54
お気に入りの復元	60~62
オルトキー	17
音量	14、20

か

解像度	22
カーソルキー	16
カタカナ	16
カタカナ/ひらがなキー	16
壁紙	21
キーボード	13~17、50
キャップスロックキー	16
小文字モード	16
コントロールキー	17

さ

再起動	7
再生/一時停止ボタン	14
シフトキー	16
シャットダウン	6
スクロールロックキー	17
スピーカー	31
スペースキー	16
スリープ	7、14、49
スリープボタン	14
制御キー	13
セーフモード	48

た

タッチパッド	12、13~14、50~51
タブキー	16
ダブルクリック	10、12
チャンネルアップボタン	14
チャンネルダウンボタン	14
停止ボタン	14
ディスプレイ	49~50
デザイン	22
デバイスドライバー	32、33、36、48
テーマ	21
デリートキー	15
テレビアンテナ端子	31
デンキー	50
電源LED	47
電源ケーブル	47
電源スイッチ	6
電子マニュアル	2~3、44
ドラッグアンドドロップ	11

な

日本語入力システム	16
ニューメリックロックキー	17

は

ハウリング	34
バックアップ	52~59
バックスペースキー	16
半角/全角キー	16
光ディスク	18~19
光ディスクドライブ	19
光デジタル (SPDIF) 出力端子 (角型)	31、35
左クリック	10、12
左ボタン	10、12
日付と時刻	49
ひらがな	16
ファンクションキー	15
復元	60~68
プラグアンドプレイ	33
プリントスクリーンキー	15
ヘッドホン	30、35
ヘッドホン端子	30、35
変換キー	16

ホイール	10
ポーズ/ブレイクキー	15
ボリュームアップボタン	14
ボリュームダウンボタン	14

ま

マイク端子	30、34
マイクホン	30、34
マウス	10～11、50
マウスポインター	22
右クリック	10、12
右ボタン	10、12
ミュート	20
無変換キー	16
メモリーカードスロット	30、40～42
メモリースティック	30、40
メモリースティックPRO	30、40
メールアカウントのバックアップ	54～55
メールアカウントの復元	63
メールメッセージのバックアップ	55～57
メールメッセージの復元	64～65
文字入力キー	13～14

や

ユーザーアカウント	9
ユーザー辞書のバックアップ	58～59
ユーザー辞書の復元	66～68

ら

ライン出力端子	31
ライン入力端子	31、34
リカバリー	47、52～68
リチウム電池	49

ろ

ロック	16、17、50
-----	----------

わ

ワイヤレスLAN	23～26
ワイヤレスLAN LED	24

A

Altキー	17
-------	----

B

Back Spaceキー	16
B-CASカードスロット	31
BIOS	69

C

Caps Lockキー	16
Ctrlキー	17

D

Deleteキー	15
----------	----

E

e-mailボタン	14
Enterキー	15
Escキー	15

F

FeliCa	39
FeliCaポート	39

I

IEEE802.11b	23、24
IEEE802.11g	23、24
IEEE802.11nドラフト	23、24
Insertキー	15
iPod	37～38
iPodクレイドル	29、37～38

M

Microsoft IME	16
MMC	30、40

N

NumLockキー	17
-----------	----

P

Pause/Breakキー	15
PrtScrキー	15

S

ScrollLockキー	17
SDメモリーカード	30、40
SDHCメモリーカード	30、40
Shiftキー	16

T

Tabキー	16
-------	----

U


USBポート	29、30、31、36、38
--------	----------------

W

WEBカメラ	27～28
Windowsキー	13

- ・本書の仕様、情報(本製品、ソフトウェアを含む)は予告なしに変更される場合があります。本製品ならびに、ソフトウェア、マニュアルを運用した結果については、いっさいの責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・本書で紹介されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。
ソフトウェアおよびそのマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約にもとづき、同意書記載の管理責任者のもとでのみ使用することができます。よって、それ以外の目的で当該ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。
- ・本製品にあらかじめインストールされているWindows 7以外のOSについては、サポートの範囲外とさせていただきますので、ご了承ください。
- ・本書のすべての内容は著作権法によって保護されています。オンキヨー株式会社の許可なしに、本書の内容の一部または全部を無断で複写、転載することを禁じます。
- ・本製品で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
- ・本製品は、人命にかかわる設備や機器(医療機器、原子力設備に関連する機器、航空宇宙機器、運輸設備に関連する機器など)や、高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの使用や組み込みを目的として設計されていません。
これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用された場合、人身事故、財産損害などが生じて、当社はいかなる責任も負いかねます。

E/DEユーザーズガイド **2** 2009年10月 初版

- ・Intel、Intel insideロゴ、Celeron、Pentium、Centrino、Atomはアメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
- ・Microsoft、Windows、Outlookは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・Symantec、Symantecロゴ、Ghostは、Symantec Corporationの登録商標です。
©2009 Symantec Corporation. All rights reserved.
- ・VGAは米国IBM社の登録商標です。
- ・"メモリースティック"、"メモリースティックPRO"、"メモリースティックデュオ"、"マジックゲートメモリースティック"および、**PRO**は、ソニー株式会社の登録商標または商標です。
- ・miniSDはSD Card Associationの商標です。SDは商標です。SDHCは商標です。
- ・MMCは、独国Infineon Technologies AGの商標です。
- ・その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日： _____ 年 月 日

ご購入店名： _____

Tel. _____ () _____

メモ：

ONKYO®

オンキョー株式会社

本社 大阪府寝屋川市日新町2-1 〒572-8540


ONKYO
HOME PAGE
<http://www.jp.onkyo.com/>

P0910-1